ミノルタ株式会社
ミノルタ販売株式会社

フォトサポートセンター

弊社製品のカメラ、交換レンズ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、露出計など写真や画像に関わる製品の機能、使い方、撮影方法などのお問い合わせをお受けいたします。

ナビダイヤル 0570-007111

ナビダイヤルは、お客様が日本全国どこからかけても市内通話料金で通話していただけるシステムです。

TEL 03-5351-9410

携帯電話・PHS等をご使用の場合はこちらをご利用ください。

FAX 03-3356-6303

受付時間 10:00～18:00（土・日・祝日定休）

9223-2775-61 P-A105

MINOLTA

The essentials of imaging

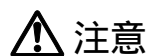
www.minolta.com

DiMAGE E201

J 使用説明書

正しく安全にお使いいただくために

お買い上げありがとうございます。
ここに示した注意事項は、正しく安全に製品をお使いいただくために、またあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。よく理解して正しく安全にお使いください。

警告　この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が予想される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は発熱注意）

警告

電池の取り扱いを誤ると、液漏れによる周囲の汚損や、発熱や破裂による火災やケガの原因となりますので、次のことは必ずお守りください。
- **指定された電池以外は使わないでください。**
- **電池の極性（＋／－）を逆に入れないでください。**
- **表面の被膜が破れたり、はがれたりした電池は使用しないでください。**
- **電池のショート、分解、加熱、および火中・水中への投入は避けてください。また金属類と一緒に保管しないでください。**
- **新しい電池と古い電池、メーカーや種類の異なる電池、充電状態の異なる電池を混ぜて使用しないでください。**
- **アルカリ電池は充電しないでください。**
- **充電式電池を充電する場合は、専用の充電器をご使用ください。**
- **万一電池が液漏れし、液が目に入った場合は、こすらずにきれいな水で洗った後、直ちに医師にご相談ください。液が手や衣服に付着した場合は、水でよく洗い流してください。また、液漏れの起こった製品の使用は中止してください。**

警告

ACアダプターをご使用になる場合は、専用品を表示された電源電圧で正しくお使いください。
表示以外の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因となります。

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁してください。
他の金属と接触すると発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄するか、リサイクルしてください。

ご自分で分解、修理、改造をしないでください。
内部には高圧部分があり、触れると感電の原因となります。修理や分解が必要な場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションにご依頼ください。

落下や損傷により内部、特にフラッシュ部が露出した場合は、内部に触れないように電池を抜き（ACアダプターの場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止してください。
フラッシュ部には高電圧が加わっていますので、感電の原因となります。またその他の部分も使用を続けると、感電、火傷、火災の原因となります。お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションに修理をご依頼ください。

幼児の口に入るような電池や小さな付属品は、幼児の手の届かないところに保管してください。
幼児が飲み込む原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

製品および付属品を、幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児・子供の近くでご使用になる場合は、細心の注意をはらってください。ケガや事故の原因となります。

フラッシュを人の目に向けて発光しないでください。
目の近くでフラッシュを発光すると視力障害を起こす原因となります。

車などの運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。
交通事故の原因となります。

自動車などの運転中や歩行中に撮影したり、モニターを見たりしないでください。
転倒や交通事故の原因となります。

正しく安全にお使いいただくために

⚠ 警告

ファインダーを通して太陽や強い光を見ないでください。
視力障害や失明の原因となります。

風呂場など湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で操作したりしないでください。内部に水が入った場合はすみやかに電池を取り出し（ACアダプターの場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止してください。
使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションにご連絡ください。

引火性の高いガスの充満している中や、ガソリン、ベンジン、シンナーの近くで本製品を使用しないでください。また、お手入れの際にアルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤は使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

ACアダプターをご使用の場合、電源コードに重いものを乗せたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、傷つけたり、加熱、破損および加工したりしないでください。またコンセントから抜くときは、アダプター本体を持って抜いてください。
コードが傷むと火災や感電の原因となります。コードが傷んだら、販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションに交換をご依頼ください。

万一使用中に高熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、すみやかに電池を抜き（ACアダプターの場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止してください。電池も高温になっていることがありますので、火傷には十分注意してください。
使用を続けると感電、火傷、火災の原因となります。お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションに修理をご依頼ください。

⚠ 注意

車のトランクやダッシュボードなど、高温や多湿になるところでの使用や保管は避けてください。
外装が変形したり、電池の液漏れ、発熱、破裂による火災、火傷、ケガの原因となります。

長時間使用される場合は、皮膚を触れたままにしないでください。
本体の温度が高くなり、低温やけどの原因となることがあります。

長時間の使用後は、すぐに電池やCFカードを取り出さないでください。
電池やCFカードが熱くなっているため火傷の原因となります。電源を切って温度が下がるまでしばらくお待ちください。

発光部に皮膚や物を密着させた状態で、フラッシュを発光させないでください。
発光時に発光部が熱くなり、火傷の原因となります。

液晶モニターを強く押したり、衝撃を与えたりしないでください。
液晶モニターが割れるとケガの原因となり、中の液体に触れると炎症の原因となります。中の液体に触れてしまった場合は、水でよく洗い流してください。万一目に入った場合は、洗い流した後医師にご相談ください。

ACアダプター使用時は、電源プラグは差し込みの奥までしっかりと差し込んでください。
電源プラグが傷ついていたり、差し込みがゆるい場合は使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ACアダプターを布や布団で覆ったり、周りに物を置いたりしないでください。
熱により変形して感電や火災の原因となったり、非常時にアダプターが抜けなくなったりします。

お手入れの際や長期間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
火災や感電の原因となります。

はじめに

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

◆Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
◆Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
◆Pentium®は、米国インテル社の登録商標です。
◆Apple、Appleロゴ、Macintosh、Power Macintosh、Finder、Mac OS、Mac OSロゴは、米国およびその他の国で登録されたアップルコンピュータ社の商標です。
◆IBM、IBM-PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
◆Adobe、Adobe PhotoDeluxeは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）およびその子会社の各国での登録商標または商標です。
◆その他の会社名・製品名は、一般に各社の商標・登録商標です。

内容物の確認

ミノルタ　ディマージュE201のパッケージには、以下のものが梱包されています。
ご確認の上、不備な点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

■DiMAGE E201本体（1台）

■単3形アルカリ乾電池（4本）

■カメラケース CS-DG201（1個）
■ハンドストラップ HS-DG201（1個）
■USBケーブル USB-300（1本）
■ビデオケーブル　VC-200（1本）
■8MB コンパクトフラッシュカード（1枚）

■CD-ROM（2枚）
・CD-ROM for DiMAGE E201（Windows®版/Macintosh版）
・Adobe PhotoDeluxe（Windows®版/Macintosh版）
■ドキュメント（各1部）
・使用説明書（本書）
・保証書

目次

撮影前の準備

撮影 基本編 1コマモードで撮影します

撮影 応用編 I ボタン操作でこんな撮影もできます

撮影 応用編 II ダイヤル操作でこんな撮影もできます

（☞ 次ページに続く）

再生　基本編　撮影した画像を見ます

再生　応用編 I　撮影した画像の消去や誤消去防止をします

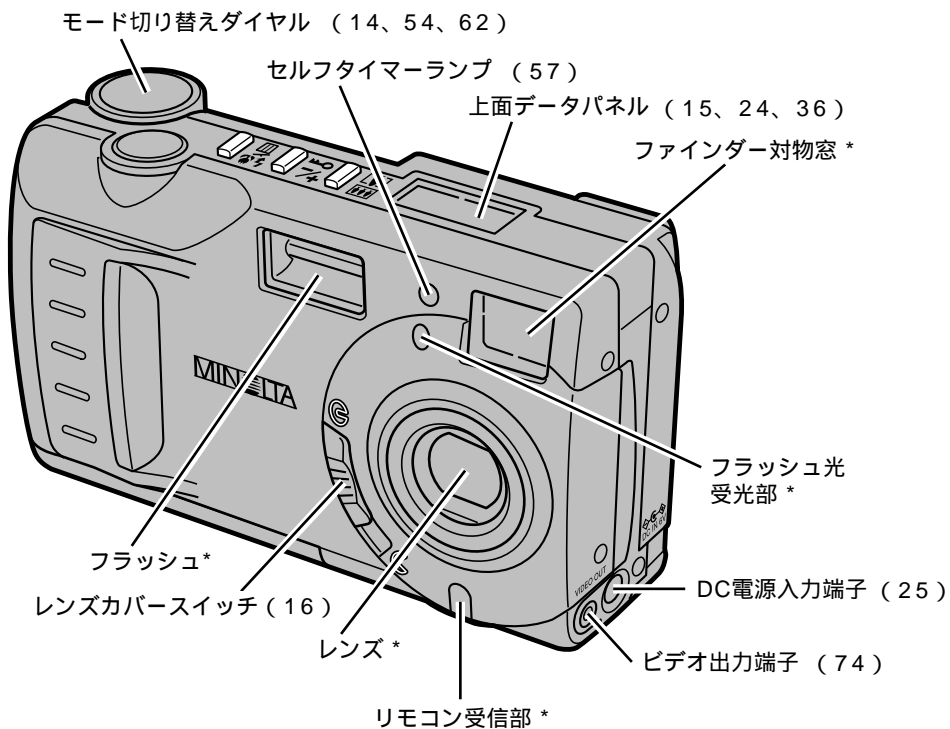
再生　応用編 II　ダイヤルでこんな機能も選べます

資料

各部の名称

ボディ

*印のついたところは直接手で触れないでください。
（　）内の数字はその部分を説明しているページ番号です。

モード切り替えダイヤル　（14、54、62）
セルフタイマーランプ　（57）
上面データパネル　（15、24、36）
ファインダー対物窓 *
フラッシュ光受光部 *
フラッシュ*
レンズカバースイッチ（16）
レンズ *
DC電源入力端子　（25）
ビデオ出力端子　（74）
リモコン受信部 *

ボディ底面

カードスロット/電池室ふた（22）
三脚ねじ穴

デジタルズームボタン　（42、68）
ファインダー接眼部*（14）
露出補正/誤消去防止ボタン　（40、80）
フラッシュモード/消去ボタン
シャッターボタン　（17、30）
ストラップ取り付け部（21）
USB端子 *（115）
メニューボタン（46、82）
液晶モニター *（35）
液晶モニター/ENTERボタン（35、46）
上スクロールボタン　（37）
下スクロールボタン　（37）

各部の名称

ファインダー接眼部

フォーカスフレーム（17、30）

フォーカス表示（31、33）

点灯	ピントが合っています。
すばやく点滅	コントラストが低すぎるか、被写体に近づきすぎです。
ゆっくり点滅	コンパクトフラッシュカードの読み書きをしています。 動画の撮影中です。

フラッシュ表示（39）

点灯	フラッシュの充電が完了しました。
点滅	フラッシュの充電中です。 シャッターは切れません。

モード切り替えダイヤル

- **動画撮影/動画再生モード**（60、72）
- **セットアップ（設定）モード**（96）
- **連続撮影/インデックス再生モード**（55、63）
- **1コマ撮影/1コマ再生モード**（28、63）
- **セルフタイマー/リモコン撮影/スライドショーモード**（56、58、70）
- **パソコン接続モード**（112）

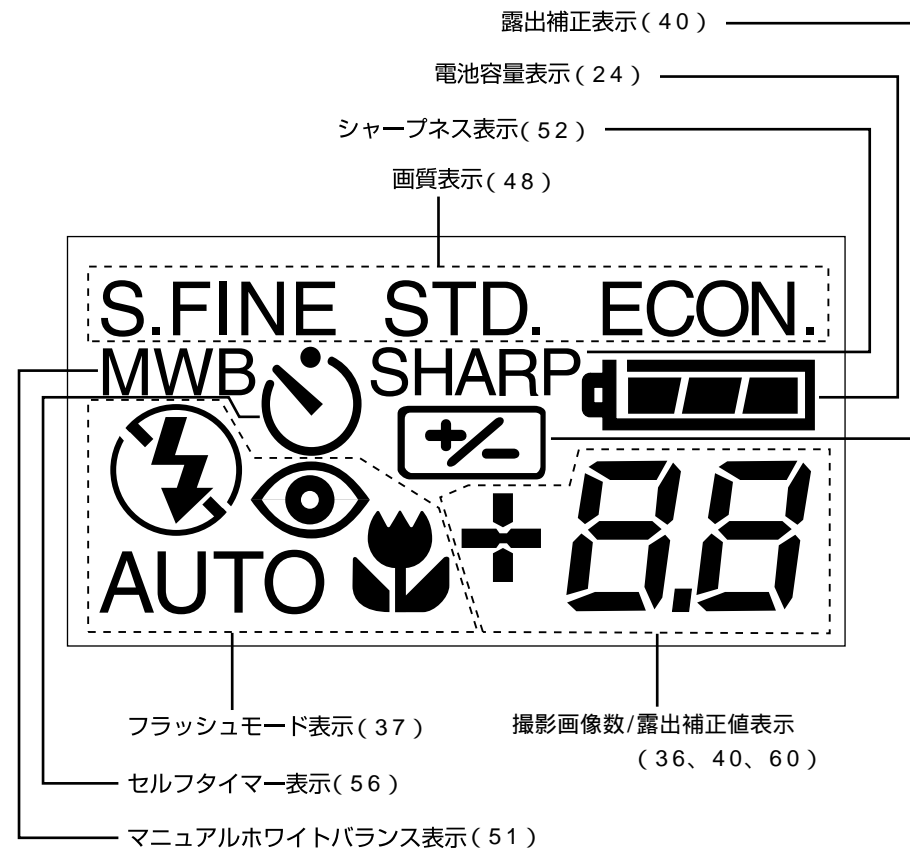
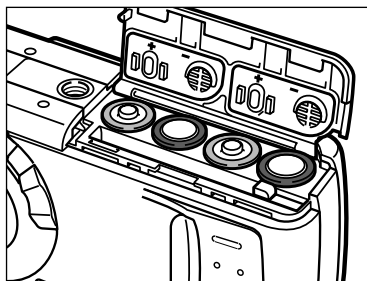
SETUP
PC

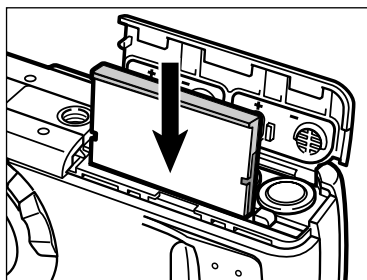
上面データパネル

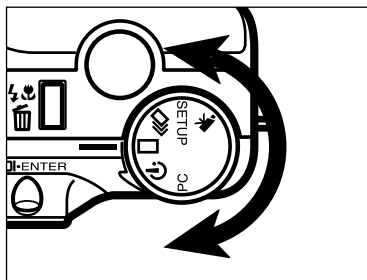
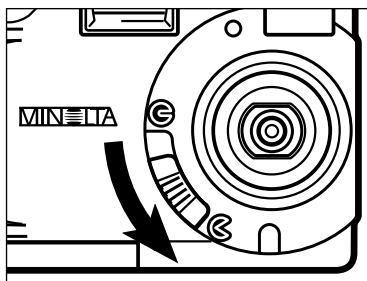
下図は、説明のためすべての表示を点灯させています。

S.FINE STD. ECON.
MWB SHARP
AUTO
8.8

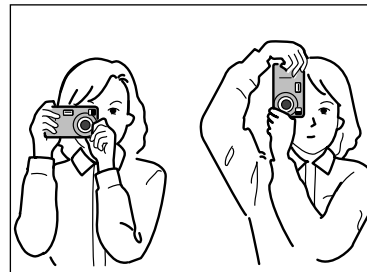
- 露出補正表示（40）
- 電池容量表示（24）
- シャープネス表示（52）
- 画質表示（48）
- フラッシュモード表示（37）
- **撮影画像数/露出補正値表示**（36、40、60）
- セルフタイマー表示（56）
- マニュアルホワイトバランス表示（51）

撮影操作早分かり

【1コマモードで撮影します】 ☞ 詳しくは本書28ページ～をご覧ください。

1 カメラ底面のカードスロット/電池室ふたを開け、電池を入れます。 **(☞ 22ページ参照)**

●電池室ふたの＋/－表示にしたがって、電池を入れます。

2 コンパクトフラッシュカードを入れます。 **(☞ 26ページ参照)**

●エッジに突起や切り込みのある面をレンズ側に向け、信号接点を奥側にしてスロットに入れ(左図参照)、まっすぐに押し込みます。

3 モード切り替えダイヤルを回して、1コマ撮影の□ 位置にします。

4 レンズカバースイッチを 位置にして、カメラを撮影モードにします。

●カメラの電源が入りSINGLE（1コマ撮影）モードになります。

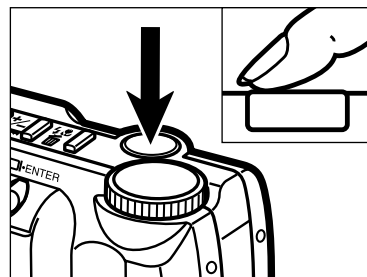
●液晶モニターが点灯します。

5 指や髪の毛がレンズにかからないようにカメラを構えます。

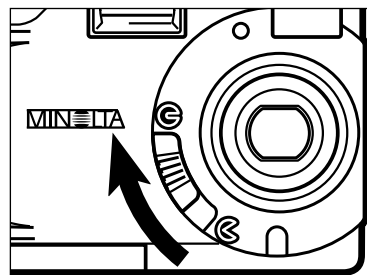
●ファインダーや液晶モニターで被写体を確認します。

6 シャッターボタンを途中まで軽く押しピントを合わせます。

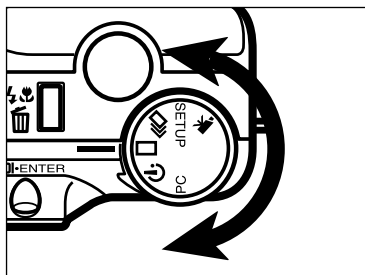
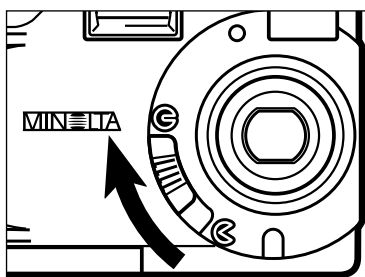
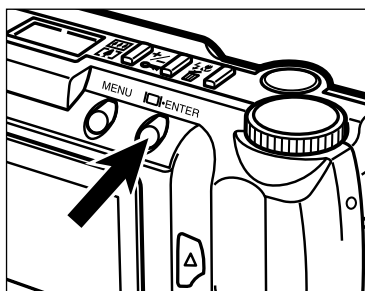
●写したいものをファインダーの（ ）に入れます。

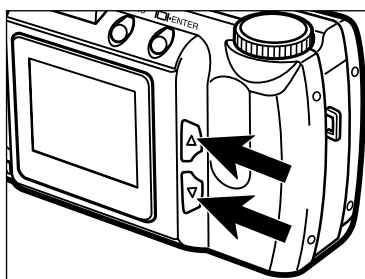
●ピントが合うと、フォーカス表示（緑色）が点灯します。

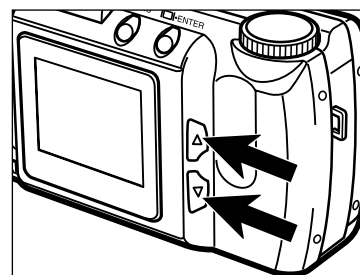
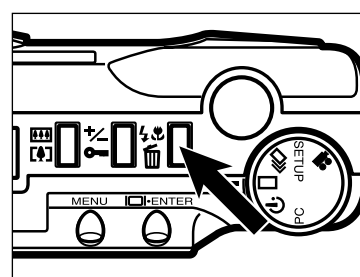
●フラッシュが発光するとき、フラッシュ表示（オレンジ色）が点灯します。

7 シャッターボタンを静かに押し込みます。

●撮影した画像がコンパクトフラッシュカードに書き込まれている間は、フォーカス表示（緑色）が、ゆっくり点滅します。

8 撮影が終わればレンズカバースイッチを 位置にし、カメラの電源を切ります。

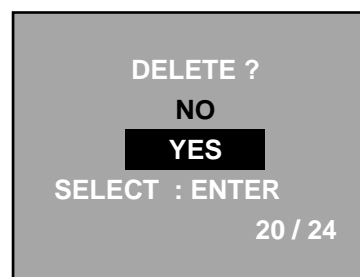
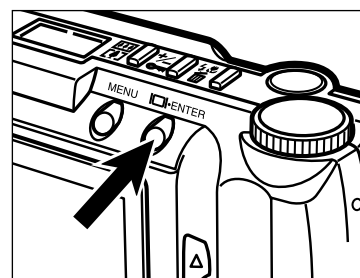
●3分間カメラを操作しないと、自動的に電源が切れるようになっています。

【撮影した画像を見ます】☞詳しくは本書62ページ～をご覧ください。

1 モード切り替えダイヤルを回して、□ 位置にします。

2 レンズカバースイッチを⊖位置にします。

3 カメラ背面の液晶モニター/ENTERボタン |□| を1秒以上押します。

●液晶モニターに画像が表示されます。

4 カメラ背面▲または▼のスクロールボタンで、画像のコマ送り・コマ戻しができます。

【1コマの消去】☞詳しくは本書78ページ～をご覧ください。

1 前ページ【撮影した画像を見るには】の手順で、消去したい画像を液晶モニターに表示させます。

2 フラッシュモード/消去ボタンを押します。

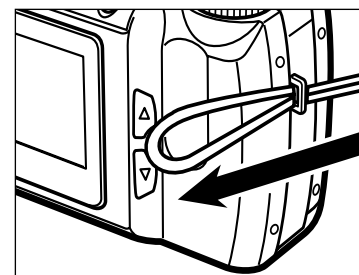
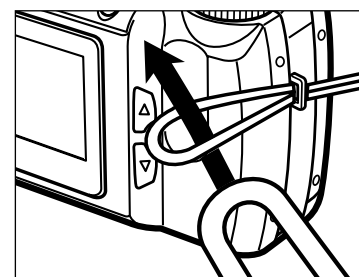
●確認画面が表示されます。

DELETE ?
NO
YES
SELECT : ENTER
20 / 24

3 カメラ背面の▲または▼スクロールボタンで、YESを反転させます。

4 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●液晶モニターに表示させた画像が消去されます。

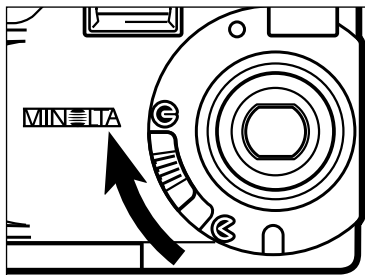
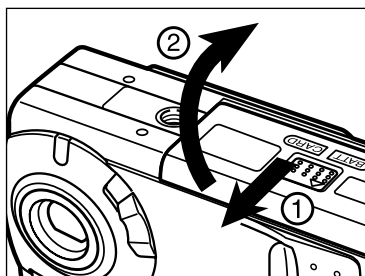
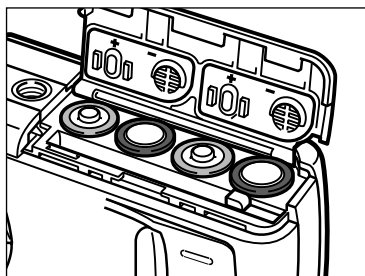
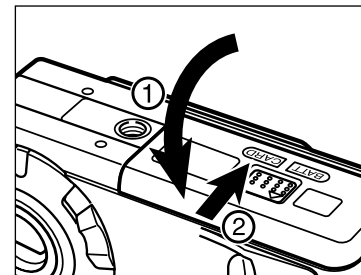
●消去後、液晶モニターは次の画像の消去操作画面3になります。

撮影前の準備

ストラップを取り付けます

1 カメラのストラップ取り付け部に、ハンドストラップの小さい輪の方を通します。

2 大きい輪の方を図のように小さい輪の中に通します。

電池を入れます

このカメラは、単3型アルカリ乾電池 4本を使用します。
単3型アルカリ乾電池の代わりに、単3型ニッケル水素電池もお使いいただけます。

※単3型ニッケル水素電池は、かならず指定の充電器で4本ともフル充電してからお使いください。

1 レンズカバースイッチをオフ⊖の位置にして、カメラを電源オフの状態にしておきます。

2 カメラ底面のカードスロット/電池室ふたを、①の方向に少しスライドさせ、②の方向に開きます。

3 カードスロット/電池室ふたの＋/－表示にしたがって、左図のように電池を入れます。

4 カードスロット/電池室ふたを、①矢印の方向に閉じ、②カチッと音がするまで元どおりスライドさせます。

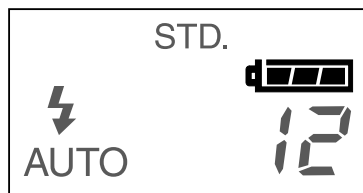
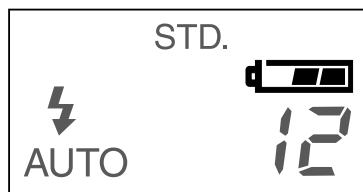
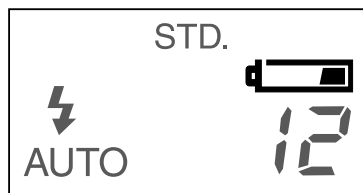
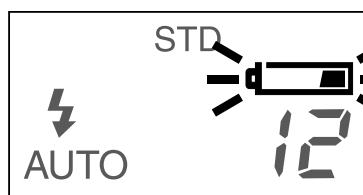
※電池を入れたときや交換したときは、カメラの内蔵時計(日付と時刻)が正しいか確認してください(☞ 96ページ参照)。
特に、ACアダプターを使用(接続)していない状態で、10分以上カードスロット/電池室ふたを開けっ放しにしておくと、時計が遅れたり、日付と時刻が初期設定値にリセットされることがあります。
時計が遅れていたり、日付と時刻がリセットされたときは、104ページからの手順に沿って日付と時刻を設定し直してください。

※カードスロット/電池室ふたを開けたまま、ふたを下にしてカメラを置かないでください。ふたの破損の原因となります。

(☞ 次ページに続く)

電池を入れます

電池容量の確認

カメラの電源が入っているときは、自動的に電池の容量がチェックされ、上面データパネルにその結果が表示されます。

点灯――電池容量は十分です。

点灯――電池容量は十分ですが、新しい電池を準備しておくことをおすすめします。

点灯――次のいずれかの対処をおすすめします。この状態でも撮影・再生はできます。①4本とも新品の電池と交換する。②電池を4本とも抜いて、ACアダプターを使用する（☞ 次ページ参照）。

点滅――次のいずれかの操作をしてください。**撮影・再生はできません。**①4本とも新品の電池と交換する。②電池を4本とも抜いて、ACアダプターを使用する（☞ 次ページ参照）。

※上面データパネルに何も表示されないときは、電池の向き（＋/－）が正しいかどうかを確認してください。それでも何も表示されないときは、電池を交換してください。

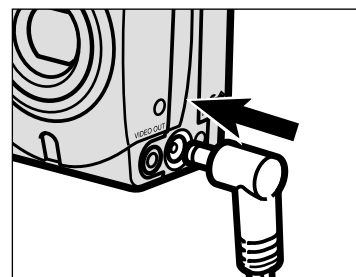
オートパワーオフ

このカメラは、電源を入れてから約3分以上何も操作しないと、節電のため自動的に電源が切れます（オートパワーオフ）。
再び電源を入れ、撮影モードにしたいときは、一度、レンズカバースイッチを⊖位置にしてから⊲位置に戻してください。
再生モードのときに、再び電源を入れたいときは、液晶モニター/ENTERボタンを押してください。

※電池を使用しているときは、自動的に電源が切れるまでの時間を変更することができます。詳しくは、102ページをご覧ください。
※ACアダプターを使用しているときは、電源を入れてから約30分以上何も操作しないと、節電のため自動的に電源が切れます。

ACアダプターAC-1/AC-1L（別売）の使用

屋内などAC電源が使える場所で使用するときや、パーソナルコンピュータと接続して画像データをやり取りするような場合は、ACアダプターAC-1あるいはAC-1L（別売）の使用をおすすめします。

電池からACアダプターへ、または、ACアダプターから電池へと電源を切り替えるときは、かならず、レンズカバースイッチやENTERボタンでカメラの電源を切ってください。カメラの電源がONのままで電源を切り替えないでください。

ACアダプターAC-1L

1 ACアダプターのプラグを、本機のDC電源入力端子に差し込みます。

- プラグの形は、ACアダプターにより異なります。

2 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。

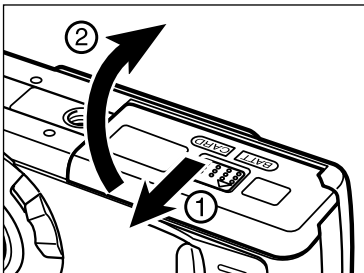
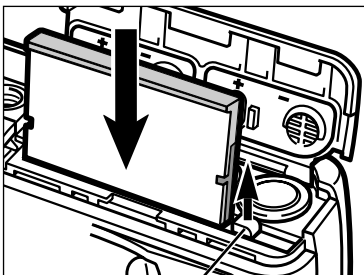
コンパクトフラッシュカードの入れ方

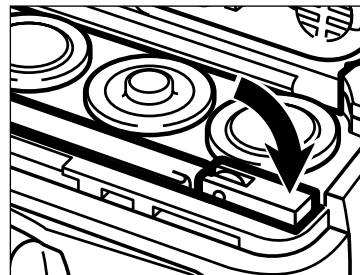
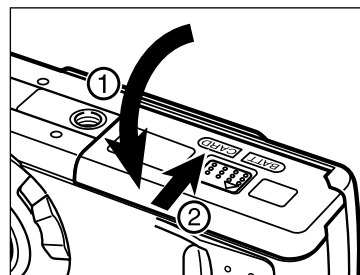
注意　コンパクトフラッシュカード（本書では以後、CFカード と記します）をカメラに入れたりカメラから取り出すときは、かならずカメラの電源を切ってください。
カメラの電源を入れたままCFカードを入れたり取り出したりすると、CFカード内のデータが失われたり、CFカード自体が破壊される恐れがあります。
誤ってCFカードを入れたり取り出したりしたときは、CFカードからパーソナルコンピュータに画像を転送してから、CFカードを再フォーマットしてください。

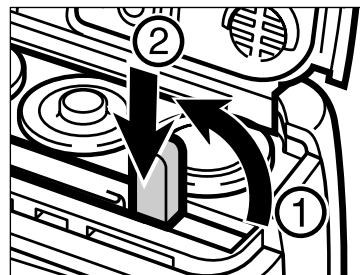
※CFカードを入れていない状態でカメラの電源を入れると、上面データパネルには「CF」、液晶モニターには「NO CARD」の警告が表示されます。

CFカードの入れ方

1 カードスロット/電池室ふたを、①矢印の方向に少しスライドさせて、②開きます。

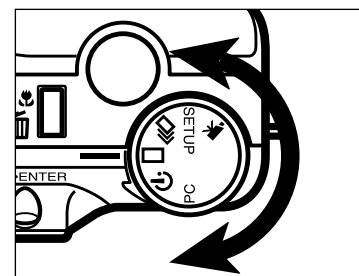
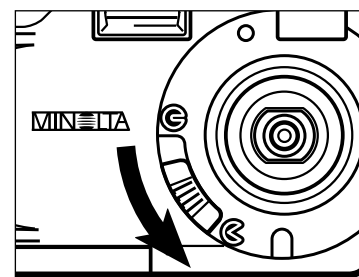
2 カードスロットにCFカードを入れます。

- カード取り出しレバーが出てくるまで押し込みます。
- エッジに突起や切り込みのある面をレンズ側に向け、信号接点を奥側にしてスロットに入れ（左図参照）、まっすぐに押し込みます。
- CFカードの中心付近をまっすぐに奥まで押し込んでください。カードの端の方を押し込むと、うまく挿入できません。
- CFカードが奥まで入らず途中で止まるときは、カードを入れる向きが正しいか確かめてください。無理に入れるとCFカードやカメラを損傷する恐れがあります。

カードス取り出しレバー

CFカードを入れると、カード取り出しレバーが出てきます。

3 カード取り出しレバーを左図のように倒します。

4 カードスロット/電池室ふたを、①矢印の方向に閉じ、②カチッと音がするまで元どおりスライドさせます。

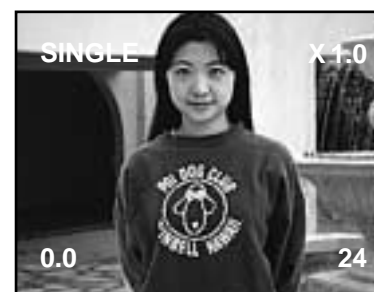
取り出し方

1 カメラの電源が切れていることを確認し、カードスロット/電池室ふたを開き、①カード取り出しレバーを起し、②まっすぐに押し込みます。

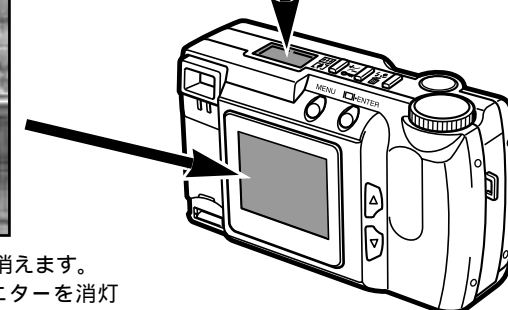
- カメラからCFカードが少し飛び出しますので、そのまま引き出してください。
- CFカードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- 取り出したCFカードは、カードに付属の保護ケースに入れて保管してください。

基本編
1コマモードで撮影します

1コマモードでカメラの電源を入れる

1 モード切り替えダイヤルを回して、□ 位置にします。

2 レンズカバースイッチを 位置にして、レンズカバーを開きます。

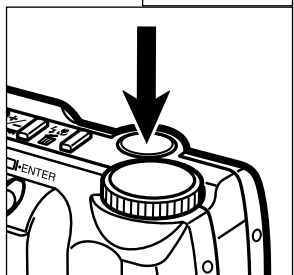
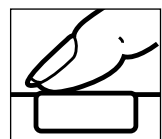
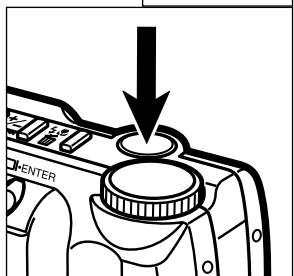
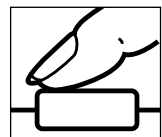
- カメラの電源が入り、SINGLE（1コマ撮影）モードになります。
- カメラの電源を切るには、レンズカバースイッチを 位置に戻し、レンズカバーを閉じます。
- カメラの電源が入ると上面データパネルと液晶モニターが表示されます。
- 上面データパネルの撮影画像数表示は、これから撮影できる画像の数が表示されます。画質でエコノミーを選んだり、容量の大きいCFカード等を使用したりして100以上の画像が撮影できる場合は、+99と表示されます。（☞ 48ページ参照）

液晶モニター

上面データパネル

- 液晶モニターの文字表示は５秒後に消えます。
- 電池を長持ちさせるために液晶モニターを消灯させることができます。（☞ 35ページ参照）

ピント合わせ

3 ピントを合わせたいものがファインダーの（ ）に入るようにカメラを構えます。

●ピントを合わせたいものを（ ）に入れられないときは、フォーカスロック撮影をすることをおすすめします。（☞ 33ページ参照）

●カメラを構えるときは指などでレンズを覆わないように注意してください。

4 シャッターボタンを 半押しします。

●シャッターボタンを軽く押すと、途中で止まるところがあります。この使用説明書ではここまで押すことを「半押し」と呼んでいます。

●自動的にピント合わせが行われます。ピントが合うと、フォーカス表示（緑色）が点灯します。フォーカス表示（緑色）が点滅したときはピントは合っていません。操作 3、4 をやり直してください。

●フラッシュの充電が完了すると、フラッシュ撮影表示（オレンジ色）が点灯します。
フラッシュ撮影表示（オレンジ色）が点滅したときはフラッシュを充電中です。シャッターは切れません。

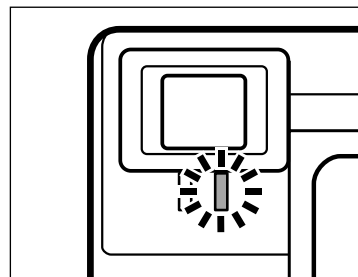
5 フォーカス表示（緑色）が点灯したら、そのままシャッターボタンを静かに押し込みます。

●撮影後は撮った画像が液晶モニターに表示され、CFカードに書き込まれます。書き込み中は、フォーカス表示（緑色）がゆっくり点滅し、液晶モニターにRECORDINGが表示されます。**書き込みが終了するまで、絶対にACアダプターのプラグを抜いたり、CFカードを取り出したりしないでください。**CFカード内のデータが破損したり失われる恐れがあります。

●書き込みが終了すると、フォーカス表示（緑色）が消えます。
●CFカードの容量が満杯になると、液晶モニターにCARD FULLが表示されます。
●CARD FULLが表示された場合でも、画質や画像サイズを変えると、さらに撮影できる場合があります。（☞ 48、50ページ参照）

フォーカス表示

フォーカス表示

このカメラは、シャッターボタンを半押しすると自動的にピント合わせが行われ、フォーカス表示（緑色）がピントの状態をお知らせします。

点灯	ピントが合っています。
点滅	ピントが合いません。

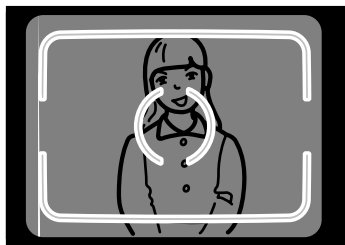
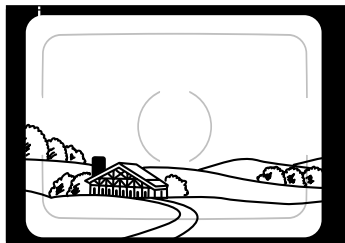
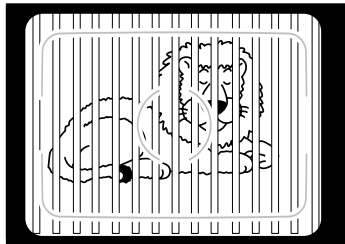
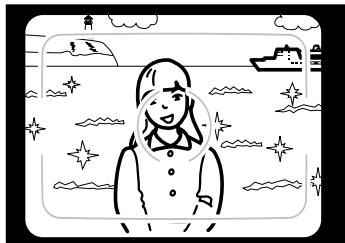
フォーカス表示（緑色）が点滅したときは、以下のことを確認してください。
◆オートフォーカスの苦手な被写体（☞ 次ページ参照）を撮影しようとしていませんか。
◆撮影モードの最短撮影距離よりも近いものを撮影しようとしていませんか。（☞ 下記参照）

ピントが合う範囲（最短撮影距離）

このカメラのピントが合う範囲は以下の表のとおりです。
最短撮影距離（標準モードで0.6m、マクロモードで0.3m）よりも近いものを撮影しようとすると、フォーカス表示が点滅します。

標準モード	0.6m〜∞（無限遠）
マクロモード（☞ 44ページ参照）	0.3m〜0.6m

オートフォーカスの苦手な被写体

オートフォーカスのピント合わせは被写体のコントラスト（明暗差）を利用しています。したがって以下のような被写体ではオートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。このような場合は、写したいものと同じ距離にある別のもの（コントラストのあるもの）にピントを合わせてから構図を変えるフォーカスロック撮影（☞ 次ページ参照）を行ってください。

暗すぎるもの

青空や白壁などコントラスト（明暗差）のない被写体

おりの中の動物など、フォーカスフレームの中に距離の異なるものが混じっているとき

太陽のように明るい被写体や、車のボディ、水面などきらきら輝いているもの

撮りたいものが画面中央にないときは（フォーカスロック）

ピントを合わせたいものが（ ）に入らないときにそのまま撮影すると、（ ）と重なっている背景にピントが合って、人物がぼけた画像になってしまいます。このようにピントを合わせたいものが（ ）に入らないときは、次のようにしてピントを固定（フォーカスロック）して撮影してください。

1 ピントを合わせたいものにフォーカスフレーム（ ）を合わせ、シャッターボタンを半押しします。

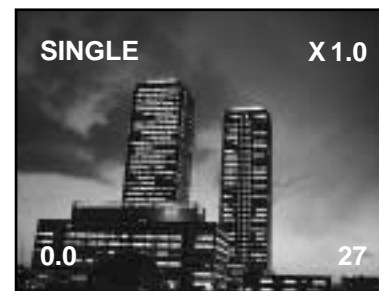
- 自動的にピント合わせが行われます。ピントが合うと、フォーカス表示（緑色）が点灯します。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図にし、シャッターボタンを押し込んで撮影します。

※フォーカス表示（緑色）が点灯しないとき（被写体が動いているときなど）は、ピントが固定されませんので、フォーカスロック撮影はできません。

撮影応用編 I

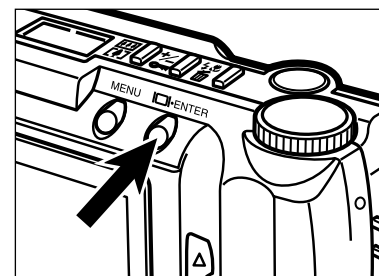
ボタン操作でこんな撮影もできます

液晶モニターの点灯/消灯

撮影時、カメラ背面部の液晶モニターには、レンズを通して撮影しようとしている画像が表示されます。そのほかに、撮影モード、フラッシュモード、露出補正値表示、フレームカウンターが約5秒間表示されます。

5秒後

約5秒後はレンズを通して撮影しようとしている画像だけになります。

液晶モニターの消灯と点灯

電池を長持ちさせるために、液晶モニターを消灯させることができます。

液晶モニターを消灯させたいときは液晶モニター/ENTERボタンを押します。

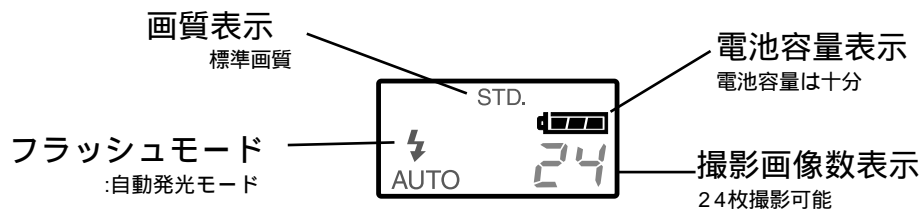
- 再度、液晶モニター/ENTERボタンを押すと、液晶モニターを点灯することができます。

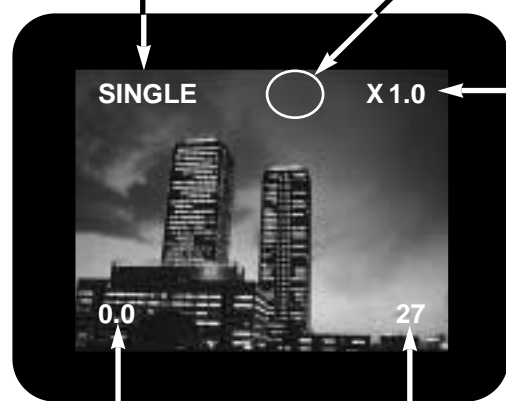
上面データパネルと液晶モニター上の表示内容

画質表示
標準画質

電池容量表示
電池容量は十分

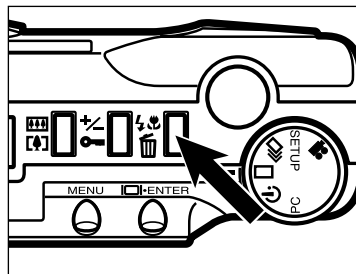
フラッシュモード
:自動発光モード

撮影画像数表示
24枚撮影可能

SINGLE :1コマ撮影
ドライブモード

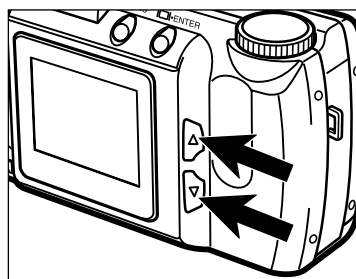
(非表示) :自動発光モード
フラッシュモード

デジタルズーム倍率
x1.0/x1.4/x2.0

露出補正値表示
-2.0〜+2.0(0.5きざみ)

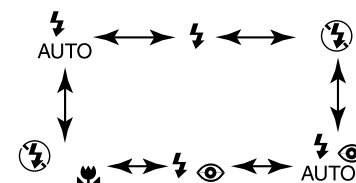
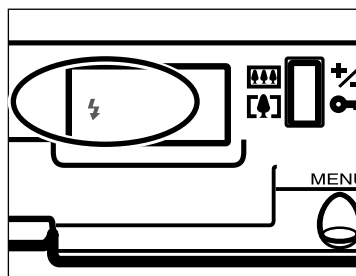
フレームカウンター
27画像を撮影済み

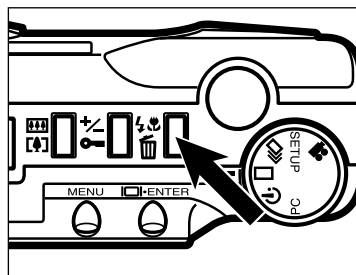
フラッシュモードの選択

1 1コマモードにして、フラッシュモード/消去ボタン を押します。

●上面データパネルに現在の設定が表示されます。

●フラッシュモード/消去ボタンは、5秒間有効です。押し続ける必要はありません。

2 ▲または▼のスクロールボタンを押して、設定したいフラッシュモードを表示させます。

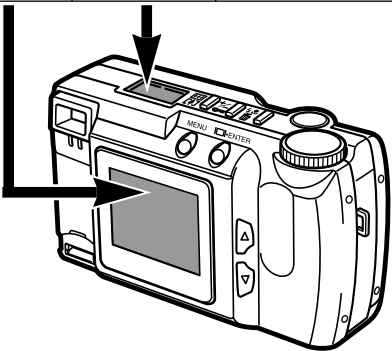
●▲または▼ボタンを押したときは、以下の順序でフラッシュモードが切り替わります。

AUTO ←→ ←→
AUTO

●フラッシュモードアイコンは、液晶モニターにも表示されます。上面データパネルと液晶モニターとではデザインが若干異なります。
(☞ 38ページ参照)

3 フラッシュモード/消去ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しします。

●操作2 で表示させたフラッシュモードに設定されます。

フラッシュモードの選択

それぞれのフラッシュモードの特長

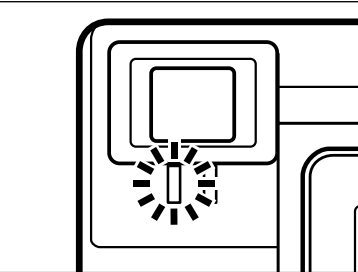
このカメラには以下の6つのフラッシュモードがあり、上面データパネルや液晶モニターにシンボルが表示されます。撮影目的や状況に応じて使い分けてください。

液晶モニター	上面データパネル	フラッシュモード	特　長
非表示	AUTO	**自動発光モード**	暗いとき必要に応じてフラッシュが自動で発光します。
		強制発光モード	フラッシュが必ず発光します。明るさや逆光等に関係なく、屋外で人物の顔に帽子の影ができるときなどは、このモードで撮影します。
		発光禁止モード	フラッシュは発光しません。美術館や博物館などフラッシュの使用が禁止されている場所で撮影するときなどに使います。
	AUTO	**赤目軽減自動発光モード**	フラッシュ本発光の前に数回、小光量の発光を行うことで、目が赤く写る現像を軽減します。 他は、自動発光モードまたは強制発光モードと同じです。
		赤目軽減強制発光モード	
		マクロ撮影モード（発光禁止）	マクロ撮影モードのときは、自動的にフラッシュ発光禁止になります。（☞ 44ページ参照）

フラッシュ光の届く距離

以下の表を目安に、この範囲内で撮影してください。

ISO-NORMAL	0.6メートル〜2.5メートル
ISO-HIGH	0.6メートル〜5.0メートル

※ISO感度を変える操作は、53ページをご参照ください。

ファインダー下のフラッシュ撮影表示

シャッターボタンを半押しすると、フラッシュ撮影表示（オレンジ色）がフラッシュの状態をお知らせします。

点灯	フラッシュの充電が完了しました。
点滅	フラッシュの充電中です。 シャッターは切れません。

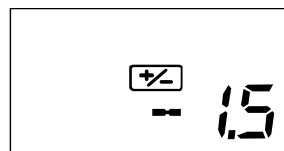
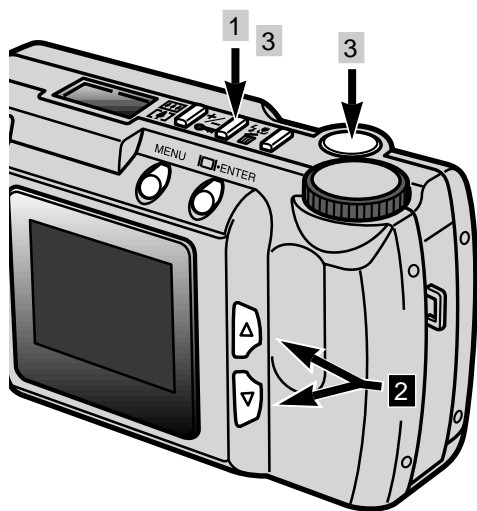
露出補正の選択

CCDに当たる光の量を調節して、画像全体を明るめにしたり暗めにしたりすることができます。

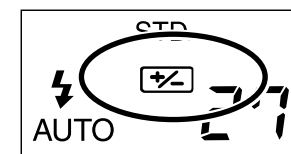
露出補正の使い方

1 露出補正/誤消去防止ボタン ⁺⁄₋ を押すと露出補正ができるようになります。

2 液晶モニターで露出補正結果を確認しながら▲または▼のスクロールボタンで露出補正します。
●上面データパネルに、現在の露出補正値が表示されます。
●液晶モニターには、露出補正された画像が表示されます。

3 露出補正/誤消去防止ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると露出補正値が確定し、補正された値で撮影できます。
●露出補正値が設定され、上面データパネルに ⁺⁄₋ が表示されます。

●上面データパネルに、現在の露出補正値が表示されます。
液晶モニターが表示されているときは、左下に露出補正値が表示されます。
●-2.0から+2.0まで、0.5きざみで変更できます。

露出補正の設定と機能

液晶モニターの画像	設定	機　能
	–2.0	露出補正をマイナス1.0にすると光の量は1/2になり、露出補正をマイナス2.0にすると1/4になります。画像はそれだけ暗くなります。
	0.0（なし）	露出補正をせずにそのまま撮影すると、露出はカメラが自動的に調節して撮影されます。
	+2.0	露出補正をプラス1.0にすると光の量は2倍になり、露出補正をプラス2.0にすると4倍になります。画像はそれだけ明るくなります。

※露出補正を設定して撮影中は上面データパネルに ⁺⁄₋ が表示されます。

※露出補正を解除する場合は、上記と同じ操作で補正値を 0.0にするか、またはカメラの電源を切ってください。
※撮ろうとしている場面で白を強調したいときは、オーバー側（+）に補正すると白さが再現されやすく、黒を強調したいときはアンダー側（–）に補正すると黒さが再現されやすくなります。

デジタルズーム倍率の選択

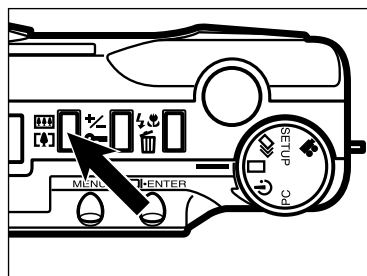
液晶モニターで表示される映像を、最大2倍までデジタル拡大して、撮影することができます。

SETUP
MENU
ENTER

SINGLE X1.0
0.0 27

現在の倍率

SINGLE X1.4
0.0 27

SINGLE X2.0
0.0 27

1 1コマモードにして、デジタルズームボタン を押します。

●液晶モニターが消灯している場合も、デジタルズームにすると自動的に液晶モニターが点灯します。

●液晶モニターの右上に現在の倍率が表示されます。(☞ 左下図参照)

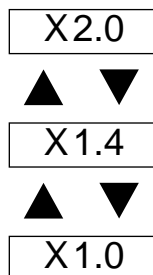
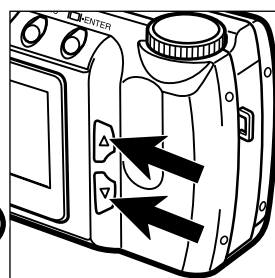
●画像サイズ(☞ 50ページ参照)がHALFに設定されているときは、デジタルズームは利用できません。

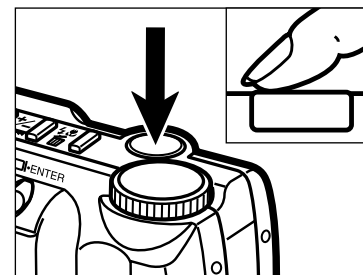
2 液晶モニターに倍率が表示されている間に、▲または▼のスクロールボタンを押して、倍率を変更します。

●倍率は以下のように変化します。

ENTER

X2.0
▲ ▼
X1.4
▲ ▼
X1.0

SINGLE X2.0
0.0 27

●ファインダーから見える景色は変わりません。倍率を変えた結果や構図は、液晶モニターで確認してください。

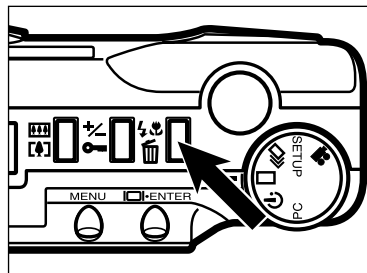
ENTER

3 シャッターボタンを押し込んで撮影します。

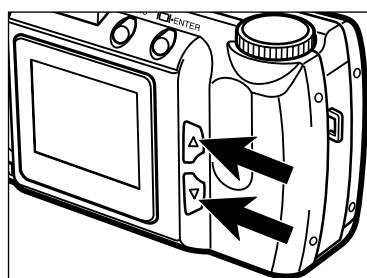
●撮影後もデジタルズームはそのまま固定されています。カメラの電源を切ると解除されます。
●デジタルズームを解除するには、デジタルズームボタンを再度押します。
●倍率を上げるほど、撮影した画像(のファイルサイズ)は小さくなります。

※デジタルズームで撮影(記録)される画像は、縦横ともに以下の表の画素数にトリミングされたものになります。フルサイズ(1792画素×1200画素)に補間はされません。したがって、パーソナルコンピュータで表示させたり、印刷解像度固定でプリントアウトした場合、画像サイズは小さくなります。

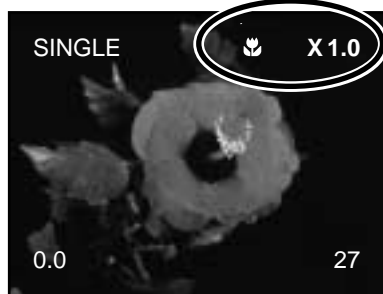
倍率	画素数(縦×横)
×1.0	1792画素×1200画素
×1.4	1280画素×856画素
×2.0	896画素×600画素

マクロ撮影

A4サイズの被写体を画面いっぱいに撮影できます。マクロ撮影の撮影距離は、0.3〜0.6mです。さらにデジタルズームとの組み合わせで、はがき大の被写体を拡大して撮影できます。

1 1コマモードにして、フラッシュモード/消去ボタンを押します。

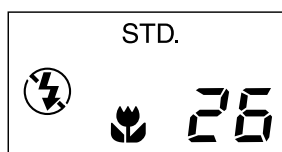
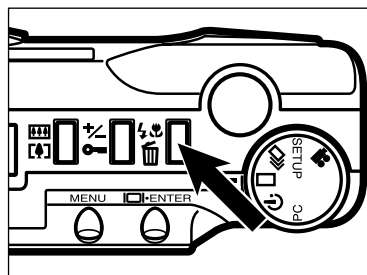
●上面データパネルに現在のフラッシュモードが表示されます。

2 ▲、または、▼のスクロールボタンを押して、上面データパネルに を表示します。

●液晶モニターが消灯している場合も、マクロ撮影モードにすると自動的に液晶モニターが点灯します。

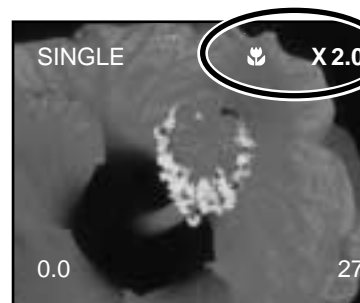
SINGLE X1.0
0.0 27

3 フラッシュモード/消去ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しします。

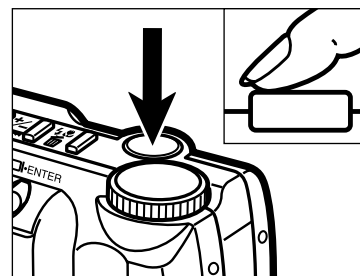
●マクロ撮影モードに設定されます。

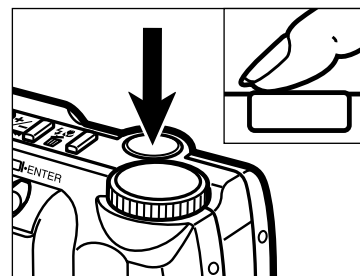
●フラッシュモードは「フラッシュ発光禁止」になり、フラッシュモードは発光しません。

STD. 26

4 撮りたいものを液晶モニターに表示します。

●カメラを安定した台の上に固定するか、三脚を使うと、うまく撮影できます。

SINGLE X2.0
0.0 27

5 デジタルズーム機能(☞ 42ページ参照)**を併用すると、さらに最大2倍まで拡大して撮影できます。**

●三脚を使って撮影することをお奨めします。

6 シャッターボタンを半押しします。

●フォーカス表示（緑色）が点滅したら、撮りたいものが0.3mから0.6mの間にあるか確認してください。

シャッターボタンを静かに押し込みます。

●撮影後も、マクロ撮影モードのままです。カメラの電源を切ると解除されます。

メニューボタンで選ぶ各種設定 MENU

撮影する映像の画質、大きさ、ホワイトバランス、シャープネス、カメラの感度などを、撮影状況や好みに応じて設定することができます。

撮影モードのメニューの使い方

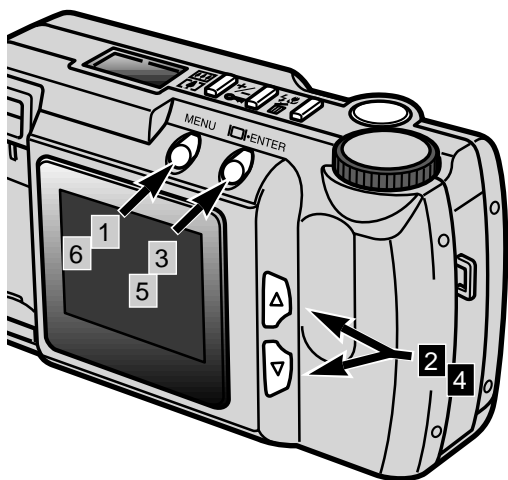
1 **メニューボタン MENU を押しメニュー画面を表示させます。**

2 **▲または▼のスクロールボタンで変更したい項目を選びます。**

3 **ENTERボタンを押すと選んだ項目が反転し、設定が選択できるようになります。**

4 **スクロールボタンで変更したい設定を選びます。**

5 **ENTERボタンを押して変更した設定を実行します。**

6 **メニューボタン(MENU)を押してメニュー画面を終了し、撮影モードに戻ります。**

●撮影モードのメニューが液晶モニターに表示されます。

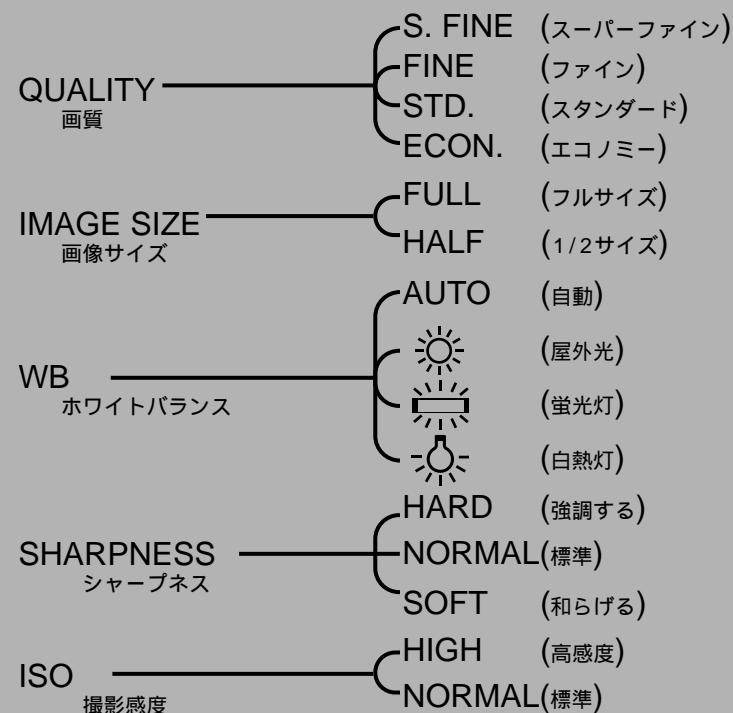
●撮影モードのメニューを非表示にするには、メニューボタンをもう1度押します。

QUALITY	STD.
IMAGE SIZE	FULL
WB	AUTO
SHARPNESS	NORMAL
ISO	NORMAL

メニュー画面

各メニューごとの選択できる項目

撮影メニュー画面

項目	設定	
QUALITY 画質	S. FINE	(スーパーファイン)
	FINE	(ファイン)
	STD.	(スタンダード)
	ECON.	(エコノミー)
IMAGE SIZE 画像サイズ	FULL	(フルサイズ)
	HALF	(1/2サイズ)
WB ホワイトバランス	AUTO	(自動)
	☼	(屋外光)
	(蛍光灯アイコン)	(蛍光灯)
	(白熱灯アイコン)	(白熱灯)
SHARPNESS シャープネス	HARD	(強調する)
	NORMAL	(標準)
	SOFT	(和らげる)
ISO 撮影感度	HIGH	(高感度)
	NORMAL	(標準)

● IMAGE SIZE(画像サイズ)、WB(ホワイトバランス)、SHARPNESS(シャープネス)の項目は、カメラの電源を切ると取り消されます。

●QUALITY(画質)と ISO(撮影感度)はカメラの電源を切っても、そのまま設定を記憶しています。もとの設定に戻すには、撮影モード設定メニューで設定し直してください。

(☞引き続きそれぞれの項目について説明します。次ページに続く)

画質の選択(QUALITY)

このカメラには、スーパーファイン（S.FINE)、ファイン（FINE)、スタンダード（STD.)、エコノミー（ECON.）の4つの画質モードが用意されています。

画質は画像の圧縮率に関係しています。スーパーファイン→ファイン→スタンダード→エコノミー の順で圧縮率が高くなり、それに伴って画像の質は劣化します。圧縮率が低いほど画像の質はよくなります。
画像の質を重視したいときは、スーパーファインやファインを選びます。ただし圧縮率は低い(スーパーファインは非圧縮)ので、1枚のCFカードに記録できる枚数はエコノミーやスタンダードより少なくなります。
CFカードの経済性を優先する(できるだけ多くの画像を記録する)のであれば、エコノミーを選びます。ただし圧縮率が高いので、スーパーファインやファインに比べて画像の質は劣化します。

各画質モードでの圧縮率、画像記録形式、8MBのCFカード使用時の撮影可能枚数は、以下のようになります。

	スーパーファイン S.FINE	ファイン FINE	スタンダード STD.	エコノミー ECON.
圧縮率	(非圧縮)	約1/5	約1/13	約1/26
画像記録形式	TIFF	Exif2.1- JPEG		
8MBのCFカード使用時の撮影可能枚数	約1枚 (約5枚)	約9枚 (約41枚)	約24枚 (約100枚)	約47枚 (約178枚)

※各画質モードでの撮影可能枚数はいずれも目安の値です。撮影されるシーンや被写体によって画像ファイルサイズは変化するため撮影枚数も変化します。なお、( )内は画像サイズをHALFに設定したときの値です。

※撮影可能枚数は、CFカードの容量によって変化します。

※撮影可能枚数が100枚を以上のときは、+99の表示になります。撮影可能枚数が100枚以下になると、残り枚数が表示されます。

画質の選択方法

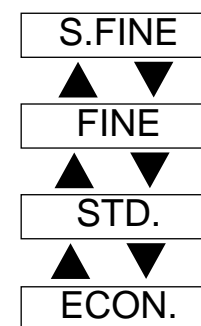
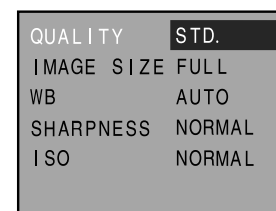
1 1コマモードにして、メニューボタン(MENU)を押しメニュー画面を表示させます。

2 ▲または▼のスクロールボタンで変更したい項目 QUALITY（画質）を選びます。

3 ENTERボタンを押すと選んだ項目が反転し、設定 STD（スタンダード）にカーソルが移動し、選択できるようになります。

4 ▲または▼のスクロールボタンで変更したい設定、例 FINE（ファイン）を選びます。

QUALITY STD.
IMAGE SIZE FULL
WB AUTO
SHARPNESS NORMAL
ISO NORMAL

S.FINE ▲▼ FINE ▲▼ STD. ▲▼ ECON.

5 ENTERボタンを押して変更した設定 FINE を実行します。

6 メニューボタンを押してメニュー画面を終了し、撮影モードにもどります。

※画質は上面データパネルにも表示されます。
※画質の変更は撮影の途中でも行えます。1枚のCFカードに複数の異なる画質の画像が混在しても問題ありません。
※画質の設定は、電源を切っても(レンズカバースイッチを⊖位置にしても)保持されています。
※画質を変更すると、撮影可能な残り枚数も変化します。特に、スーパーファインやファインを選択すると撮影可能な残り枚数が極端に少なくなることがあります。画質の変更を終わったあと上面データパネルのフレームカウンターを見て、撮影可能な残り枚数を確認されることをおすすめします。

FINE
AUTO 9

画像サイズの選択(IMAGE SIZE)

撮影する前に、画像サイズを選びます。画像サイズはFULLとHALFを選択でき、画像サイズをハーフ(HALF)に変更すると、CFカードに保存する画素数が変化し保存できる画像の数が増加しますが、画質が低下したり、デジタルズーム(☞42ページ参照)を利用できなくなります。

画像サイズ	画素数（縦×横）
FULL	1792画素×1200画素
HALF	800画素×600画素

画像サイズの選択方法

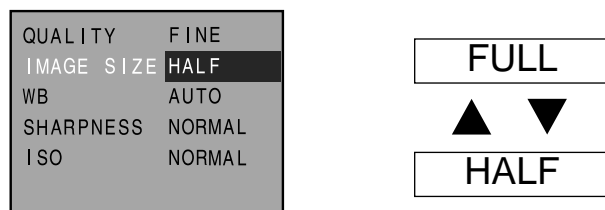
1 １コマモードにして、メニューボタン(MENU)を押しメニュー画面を表示させます。

2 ▲または▼のスクロールボタンで変更したい項目 IMAGE SIZE（画像サイズ）を選びます。

3 ENTERボタンを押すとで選んだ項目が反転し、設定 FULL（フルサイズ）にカーソルが移動し、選択できるようになります。

4 スクロールボタンで変更したい設定、例 HALF（ハーフサイズ）を選びます。

QUALITY	FINE
IMAGE SIZE	HALF
WB	AUTO
SHARPNESS	NORMAL
ISO	NORMAL

FULL
▲ ▼
HALF

5 ENTERボタンを押して変更した設定 HALF 実行します。

6 メニューボタンを押してメニュー画面を終了し、撮影モードにもどります。

ホワイトバランスの選択(WB)

撮影

光源によって被写体の色は変化します。特に白い服などは、光源によって青っぽくなったり赤っぽくなったりします。これが白くなるように調整するのがホワイトバランスです。オートホワイトバランスでは自動的に調整されますが、マニュアルホワイトバランス(MWB)で、光源に合わせて選択できます。

AUTO	**オートホワイトバランス** 撮像CCDに入射する光源に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。通常はこの設定にしておきます。
☼	**屋外光モード** 太陽光などの自然光で照明されているものを撮影するときに使います。
(蛍光灯アイコン)	**蛍光灯モード** 蛍光灯で照明されているものを撮影するときに使います。
(白熱灯アイコン)	**白熱灯モード** タングステンライトで照明されているものを撮影するときに使います。

ホワイトバランスの選択方法

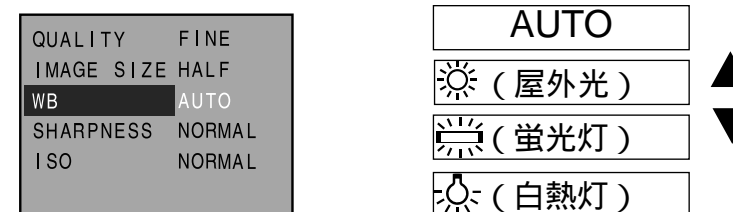
1 １コマモードにして、メニューボタン(MENU)を押しメニュー画面を表示させます。

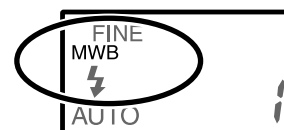
2 ▲または▼のスクロールボタンで変更したい項目 WB（ホワイトバランス）を選びます。

3 ENTERボタンを押すとで選んだ項目が反転し、設定 AUTO（オートホワイトバランス）にカーソルが移動し、選択できるようになります。

4 スクロールボタンで変更したい設定、例 (白熱灯アイコン)（白熱灯）を選びます。

QUALITY	FINE
IMAGE SIZE	HALF
WB	AUTO
SHARPNESS	NORMAL
ISO	NORMAL

AUTO
（屋外光）
（蛍光灯）
（白熱灯）
▲ ▼

5 ENTERボタンを押して変更した設定 白熱灯を 実行します。
6 メニューボタンを押してメニュー画面を終了し、撮影モードにもどります。

FINE
MWB
AUTO

●屋外光、蛍光灯、白熱灯のいずれかを選んだときは、上面データパネルにマニュアルホワイトバランスを現す **MWB** が表示されます。

シャープネスの設定(SHARPNESS)

撮影する画像のシャープネス（鮮鋭度）を調節できます。以下の3つの設定があり、輪郭を強調したメリハリの効いた画像にしたり、ソフトな印象の画像にしたりできます。

HARD	撮影される画像のシャープネスを強調します。
NORMAL	撮影される画像に何も変更を加えません。（標準）
SOFT	撮影される画像のシャープネスを和らげます。

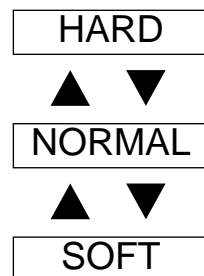
シャープネスの選択方法

1 １コマモードにして、メニューボタン(MENU)を押しメニュー画面を表示させます。

2 ▲または▼のスクロールボタンで変更したい項目 SHARPNESS（シャープネス）を選びます。

3 ENTERボタンを押すとで選んだ項目が反転し、設定 NORMAL（ノーマル）にカーソルが移動し、選択できるようになります。

4 ▲または▼のスクロールボタンで変更したい設定、例 HARD（ハード）を選びます。

QUALITY FINE
IMAGE SIZE HALF
WB
SHARPNESS NORMAL
ISO NORMAL

HARD
▲ ▼
NORMAL
▲ ▼
SOFT

5 ENTERボタンを押して変更した設定 HARD を実行します。

6 メニューボタンを押してメニュー画面を終了し、撮影モードにもどります。

FINE
MWB
SHARP
AUTO

●HARD、SOFTのいずれかを選んだときは、上面データパネルに **SHARP** が表示されます。

ISO感度の設定(ISO)

このカメラは、工場出荷時はISO感度85相当に設定されています。設定を変更すると、ISO感度340相当に上げることができます。
シーンによってはノイズが現れることがありますが、暗いところや室内で撮影する場合には、感度をHIGHにして撮影することをおすすめします。

NORMAL	ISO感度85相当
HIGH	ISO感度340相当

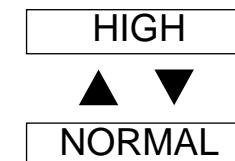
ISO感度の選択方法

1 １コマモードにして、メニューボタン(MENU)を押しメニュー画面を表示させます。

2 ▲または▼のスクロールボタンで変更したい項目 ISO（ISO感度）を選びます。

3 ENTERボタンを押すとで選んだ項目が反転し、設定 NORMAL（ノーマル）にカーソルが移動し、選択できるようになります。

4 スクロールボタンで変更したい設定、例 HIGH（ハイ）を選びます。

QUALITY FINE
IMAGE SIZE HALF
WB
SHARPNESS HARD
ISO NORMAL

HIGH
▲ ▼
NORMAL

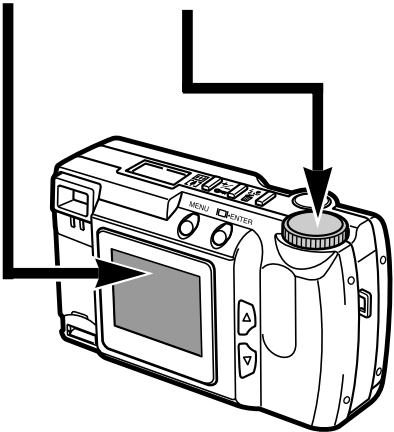
5 ENTERボタンを押して変更した設定 HIGH を実行します。

6 メニューボタンを押してメニュー画面を終了し、撮影モードにもどります。

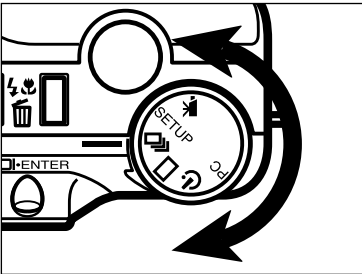
●カメラのISO感度の設定を変更しても上面データパネルには表示されません。またカメラの電源を切っても、ISO感度の設定は変更されたままになっています。もとに戻すときには同じ手順でNORMALを選びなおしてください。

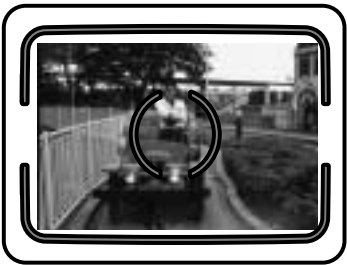
モード切り替えダイヤル操作でこんな撮影も選べます

撮影モードと特長

液晶モニター表示	モードアイコン	撮影モード	特　長
SINGLE		1コマ撮影	1コマを撮影することができます。(☞ 28ページ参照)
CONT.		連続撮影	毎秒1コマで連続撮影することができます。(☞ 55ページ参照)
TIMER		セルフタイマー/リモコン撮影	セルフタイマーやリモコンを使って撮影することができます。(☞ 56.58ページ参照)
MOVIE		動画撮影	最長60秒までの動画を撮影することができます。(☞ 60ページ参照)

シャッターボタンを押し続けている間、連続して静止画を撮影することができます。
1度に連続して撮影できる画像の枚数は画質によって異なり、以下の通りです。

画質	最大連続撮影可能枚数
S.FINE（スーパーファイン）	1
FINE（ファイン）	4
STD（スタンダード）	8
ECON（エコノミー）	12

※画像のサイズ（大きさ）は関係ありません。(☞ 50ページ参照)

1 モード切り替えダイヤルを回して、 位置にします。

●液晶モニターには連続撮影モードを表すCONT.が表示されます。

2 ピントを合わせたものが（ ）に入るようにカメラを構え、シャッターボタンを半押しします。(☞ 30ページ参照)

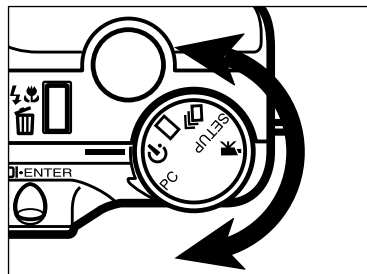
●連続撮影モードのときは、フラッシュは発光しません。

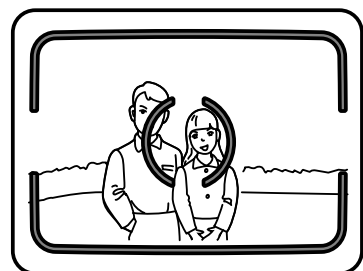
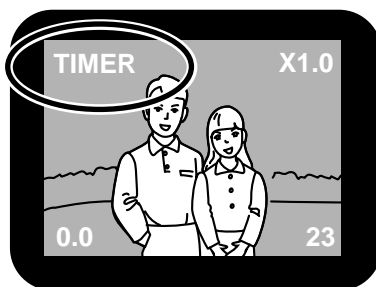
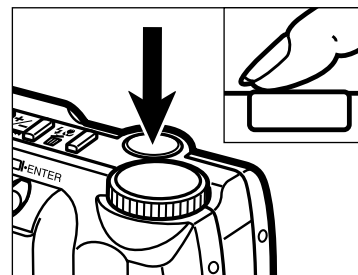
3 そのままシャッターボタンを静かに押し込み続けます。

●シャッターボタンを離すか、最大撮影可能枚数の分だけ撮影すると、連続撮影が終わります。

●連続撮影時のピントと露出は、シャッターボタンを半押ししたときのまま固定されます。

セルフタイマー撮影

シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。

1 カメラを三脚などに固定してから、モード切り替えダイヤルを回して、⏲ 位置にします。

●上面データパネルにはセルフタイマーのアイコンが、液晶モニターにはセルフタイマー連続撮影モードを表す**TIMER** が、表示されます。

2 撮りたいものにファインダー内の（ ）を重ねます。

3 シャッターボタンを押し込みます。

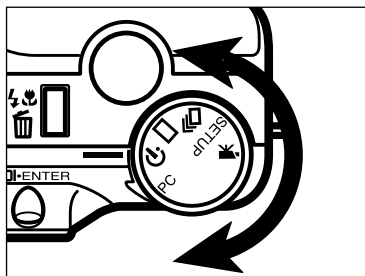
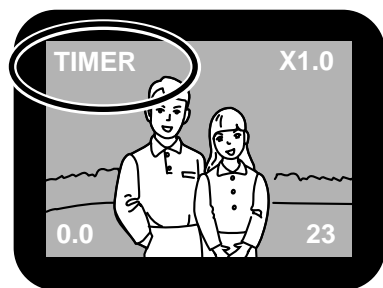
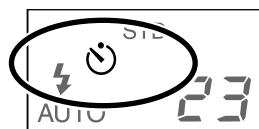
●セルフタイマー作動中は、カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。撮影直前にはランプが素早い点滅、そして点灯となり、撮影のタイミングをお知らせします。

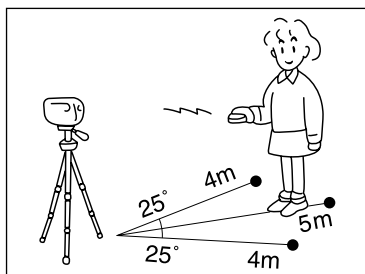
●フォーカスロックを使用することができます。（☞ 33ページ参照）

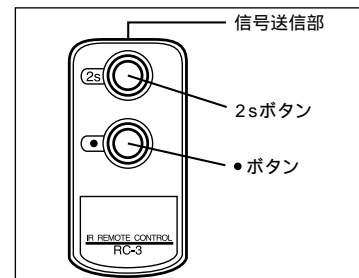
※カメラの真正面に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピント合わせができなくなります。

※作動中のセルフタイマーを止めるには、モード切り替えダイヤルを回して□、⧉、🎥、SETUP、PCのいずれかの位置にするか、レンズカバースイッチを⦿位置にしてください。

リモコン撮影（別売のIRリモコンRC-3が必要です）

別売アクセサリーのIRリモコン RC-3 を使うと、カメラから離れたところからシャッターを切ることができます。

1 カメラを三脚などに固定してから、モード切り替えダイヤルを回して、⏲ 位置にします。

2 上面データパネルのセルフタイマーアイコン、または液晶モニターのTIMER表示を確認します。

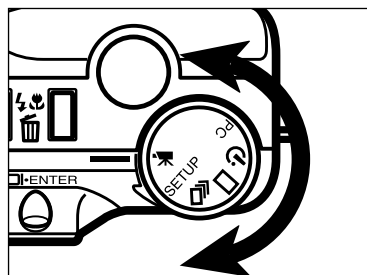
●ここまでの設定はセルフタイマー撮影と同じです。

3 カメラと被写体の位置を決めます。

●図の範囲内でリモコンを操作してください。

4 リモコンの信号送信部をカメラのリモコン受信部に向けて、2ｓボタンか●ボタンを押します。

●2ｓボタンを押すと、カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅し始め、約2秒後にシャッターが切れます。●ボタンを押したときは、ランプが点滅してすぐにシャッターが切れます。

※撮影後もリモコン撮影モードは解除されません。そのまま続けて撮影できます。
※逆光時や蛍光灯の近くでは、リモコン撮影できないことがあります。
※リモコンのボタンを押したときにセルフタイマーランプが点滅しない場合は、撮影ができていません。距離や方向などを確認の上、再度撮影してください。

動画撮影

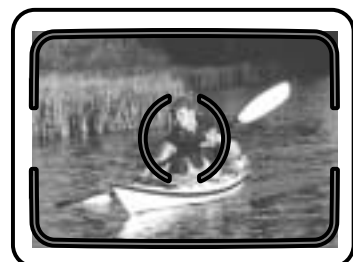
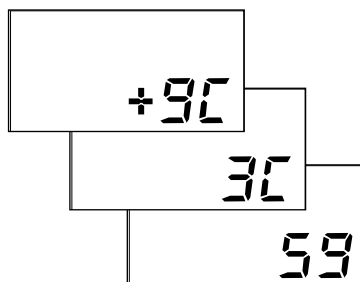
シャッターボタンを押すと動画撮影を開始し、次に押すと動画撮影を停止します。連続して撮影できる時間は最長60秒間です。

1 モード切り替えダイヤルを回して、 位置にします。

●液晶モニターには動画撮影モードを表すMOVIEが、表示されます。

2 液晶モニター動画モードを表すMOVIEの表示を確認します。

MOVIE
0.0 59

●動画の最長撮影時間（60秒）を1クリップ（1本）として、撮影可能なクリップ数を上面データパネルに表示します。撮影可能なクリップ数が10クリップ以上の場合は+9と表示されます。もし残りの動画撮影可能時間が60秒（1クリップ）に満たない場合は、撮影可能な動画の秒数を表示します。左図は上面データパネルに10クリップ以上の動画撮影が可能な場合の表示、3クリップの動画撮影可能な場合の表示、59秒の動画撮影可能な場合の表示の例。

+9C
3C
59

3 ピントを合わせたものが（ ）に入るようにカメラを構え、シャッターボタンを半押しします。（☞ 30ページ参照）

●動画撮影モードのときは、フラッシュは発光しません。デジタルズームも使えません。またメニューボタンを使っての画質選択、画像サイズの選択、ホワイトバランス選択、シャープネスの選択、カメラのISO感度選択はできません。

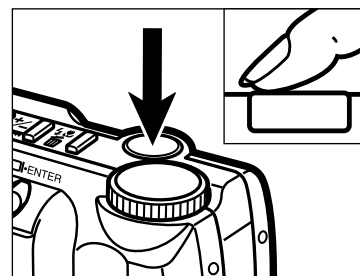
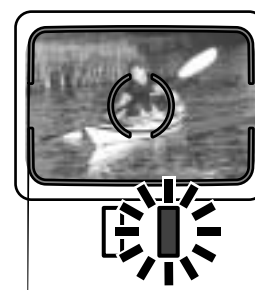
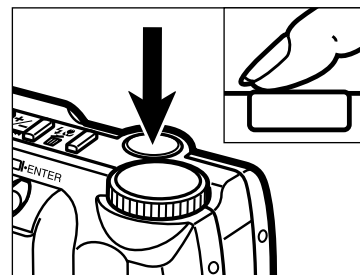
4 そのままシャッターボタンを静かに押し込みます。

●CFカードの容量によって撮影可能な時間が異なります。8MBのCFカードで約41秒間の動画撮影ができます。
●最長撮影時間になるまであるいは次にシャッターボタンを押すまで、動画撮影を続けます。
●動画撮影時の露出は、シャッターボタンを半押ししたときのまま固定されます。

●動画撮影中はファインダー下の表示（緑色）が点滅し、カウンタの残り時間（秒）が減算します。

例
57
58
59

5 動画撮影を終わるとき、シャッターボタンをもう一度、静かに押します。

●最長撮影時間（60秒）になると、動画撮影は終わります。

※動画撮影中にカメラと被写体の距離が大きく変わると、ピント不良になることがあります。

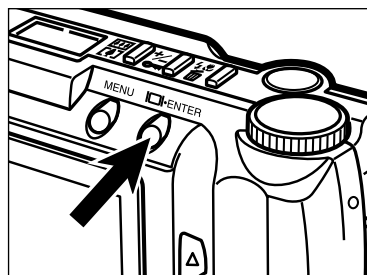
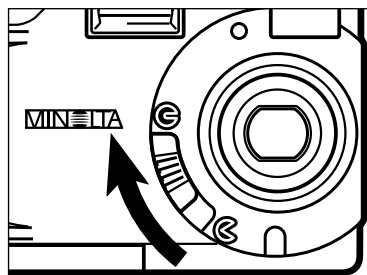
撮影した画像を見ます（再生）

再生モードの開始

再生モードにするにはレンズカバースイッチを⊖位置のままにして、液晶モニター/ENTERボタンを1秒以上押します。

- 液晶モニター/ENTERボタンを押して、再生モードが開始されると「ピッ」という操作音がします。（セットアップモードで鳴らないように設定することができます。106ページ参照）
- しばらくすると、最新の（一番最後に記録された）画像が液晶モニターに表示されます。
- 再生モードで電源を切るには、再度液晶モニター/ENTERボタンを押します。

MINOLTA

MENU ENTER

再生モード（液晶モニター）－1コマ再生時の各部の名称

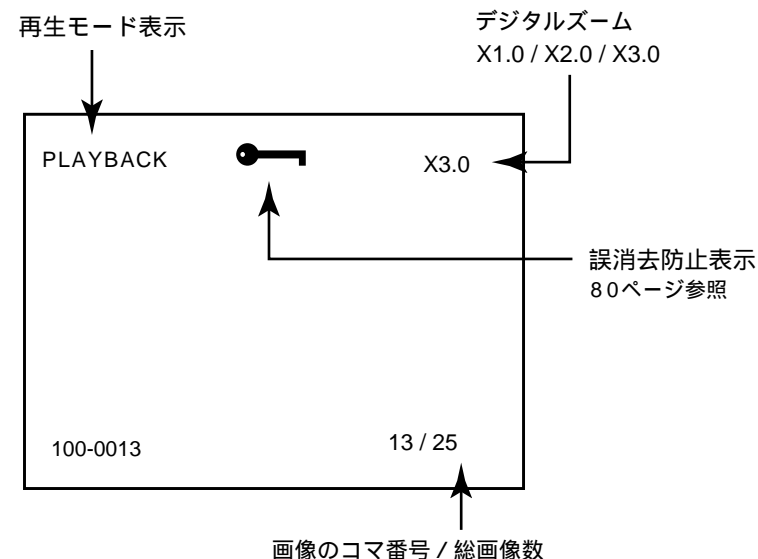
再生モード表示

デジタルズーム
X1.0 / X2.0 / X3.0

PLAYBACK　X3.0

誤消去防止表示
80ページ参照

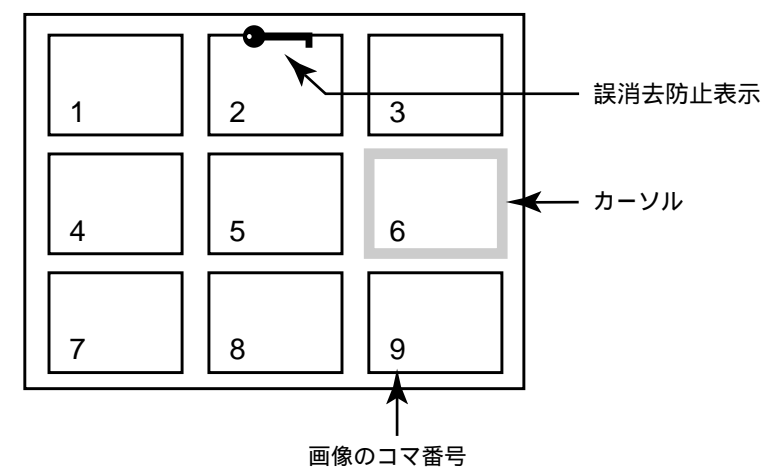
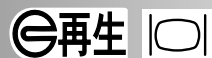
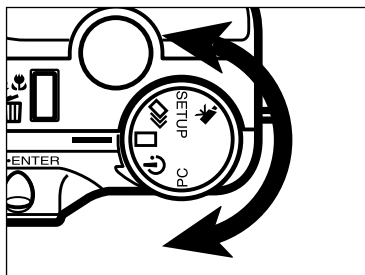
100-0013　13 / 25

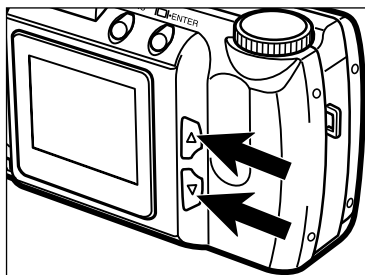
画像のコマ番号／総画像数

再生モード（液晶モニター）－インデックス再生時の各部の名称

1 2 3
4 5 6
7 8 9

誤消去防止表示

カーソル

画像のコマ番号

1コマ再生

CFカードに記録されている画像を、1コマずつ液晶モニターに表示します。

1 モードで切り替えダイヤルを回して、□位置にし、レンズカバースイッチを⊖位置にして、液晶モニター/ENTERボタンを1秒以上押します。

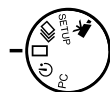
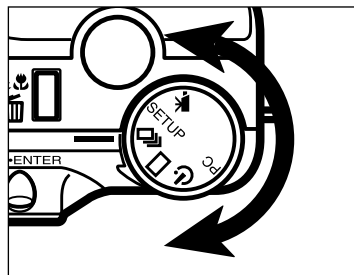
●しばらくすると、最新の（一番最後に記録された）画像が液晶モニターに表示されます。

2 カメラ背面の▲または▼のスクロールボタンで、画像のコマ送り・コマ戻しができます。

●▲ボタンを1回押すと1コマ戻ります。▼ボタンを1回押すと1コマ進みます（送られます）。

●もっとも新しい（一番最後に記録された）画像が表示されているときに▼ボタンを押すと、もっとも古い（一番最初に記録された）画像が現れ、反対に、もっとも古い（一番最初に記録された）画像が表示されているときに▲ボタンを押すと、もっとも新しい（一番最後に記録された）画像が現れます。

1コマ再生画面

PLAYBACK X1.0

100-0018 18/28

インデックス再生

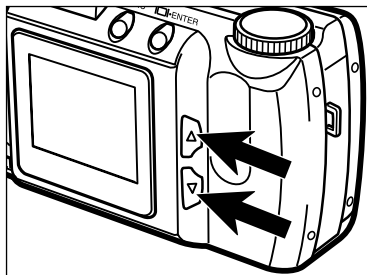
3 モード切り替えダイヤルを回して、位置にします。

●液晶モニターが1コマ再生から、9分割されたインデックス再生に切り替わります。

●モード切り替えダイヤルを回す前に表示されていた画像がカーソル（白色の枠）で囲まれて表示されます。

●最初に1コマ再生からインデックス再生に切り替えたときは、モード切り替えダイヤルを回す前に表示されていた画像以外の8コマ分の画像を1コマずつ読み込んでいくので、表示に多少時間がかかります。いったん読み込まれた後はすばやく画面が切り替わるようになります。

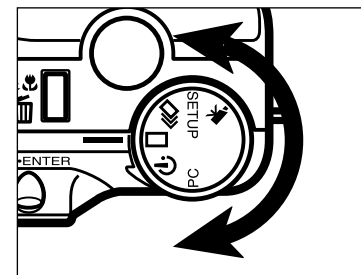
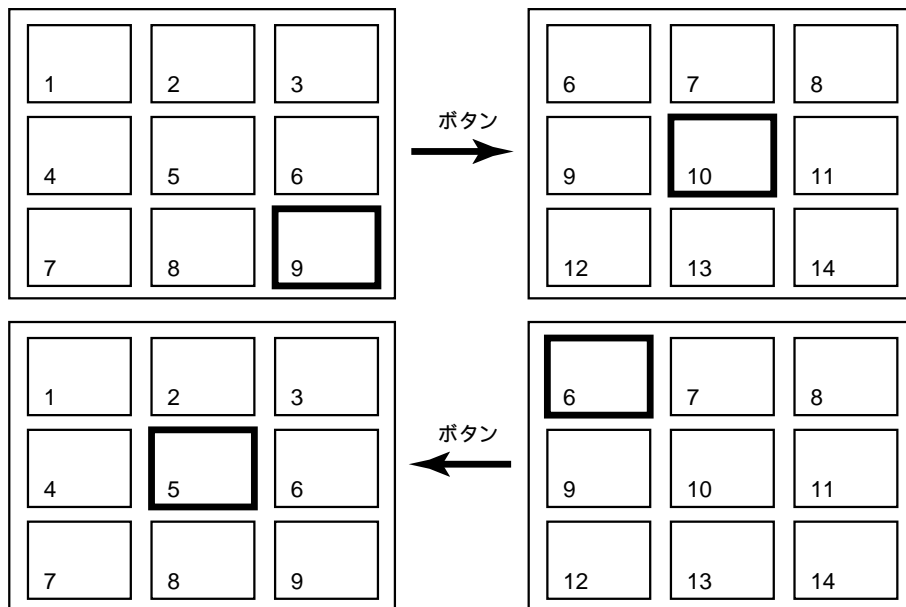
インデックス再生画面

14 15 16 17 18 19 20 21 22

4 カメラ背面の▲または▼のスクロールボタンでカーソルを動かし、見たい画像を囲みます。

- ▲ボタンを1回押すと1つ前の画像にカーソルが移動します。▼ボタンを1回押すと次の画像にカーソルが移動します。

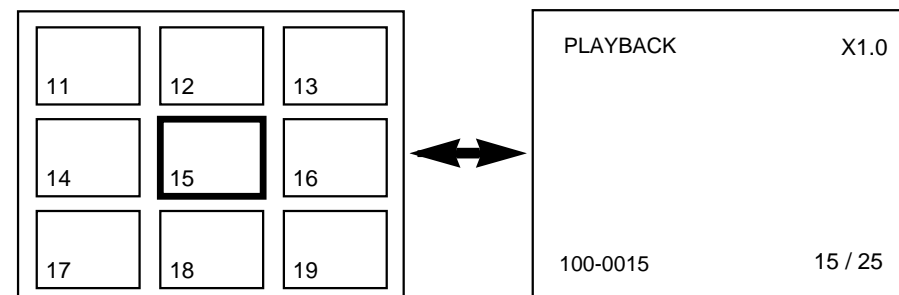
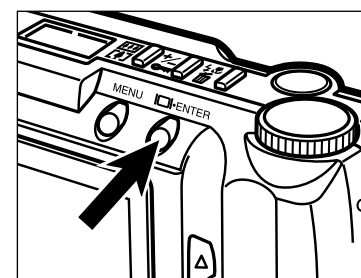
- 右下の画像にカーソルがあるときに▼ボタンを押すと、次の5コマが現れます。
- また、左上の画像にカーソルがあるときに▲ボタンを押すと、前の5コマが現れます。
- 次の9コマ、前の9コマがイメージメモリーにないときは、それらを1コマずつメモリーに読み込んでいくので、表示に多少時間がかかります。

▼ボタン

▲ボタン

5 モード切り替えダイヤルを回して、□位置にします。

- 液晶モニターがインデックス再生から1コマ再生に切り替わります。
- カーソル（白色の枠）で囲んだ画像が1コマ再生されます。

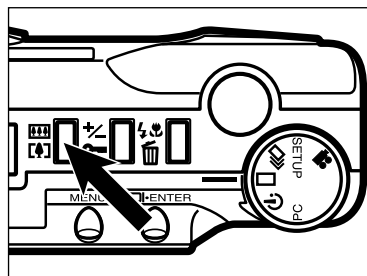
PLAYBACK　X1.0

100-0015　15 / 25

再生モードの終わりかた

液晶モニター/ENTERボタンを押します。

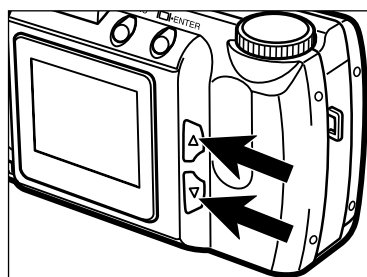
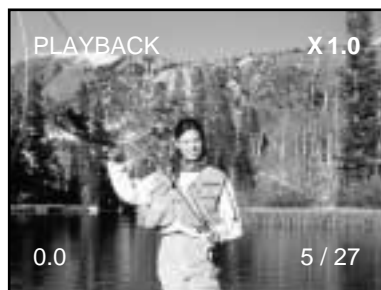
デジタルズーム再生

液晶モニターで表示される画像を、最大3倍までデジタルズームで拡大して、再生することができます。

MENU ENTER SETUP PC

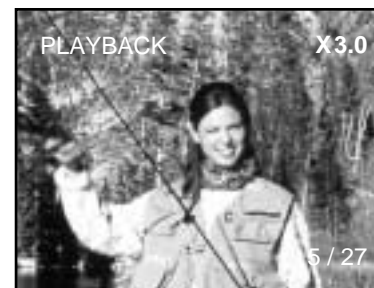
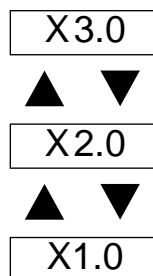
PLAYBACK X1.0
0.0 5/27

1 1コマ再生モードにして、デジタルズームボタンを押します。

●液晶モニターの右上に現在の倍率が表示されます。（☞左下図参照）

ENTER

2 液晶モニターに倍率が表示されている間に、▲または▼のスクロールボタンを押して、倍率を変更します。

●倍率は以下の順序で切り替わります。

X3.0
▲ ▼
X2.0
▲ ▼
X1.0

PLAYBACK X3.0
5/27

●倍率を変更した結果は、液晶モニターで確認してください。

●倍率をもどすときは、液晶モニターに倍率が表示されている間にデジタルズームボタンを押す（×1.0 に戻ります）か、または、カメラの電源を切ってください。

※再生モードのデジタルズームは、下表のように、撮影したときの画像サイズと倍率によって制限があります。
例1）画像サイズがFULLサイズで、倍率×2.0のデジタルズームで撮影した画像は、倍率×3.0のデジタルズームで再生することはできません。
例2）画像サイズがHALFサイズで、倍率×1.4あるいは倍率x 2.0のデジタルズームで撮影した画像は、どの倍率のデジタルズームでも再生することはできません。

撮影したときの画像サイズ	撮影したときの倍率		
	×1.0	×1.4	×2.0
FULLサイズ	×1.0/×2.0/×3.0	×1.0/×2.0/×3.0	×1.0/×2.0
HALFサイズ	×1.0/×2.0	拡大できません	拡大できません

スライドショー

1つの画像を1枚のスライドに見立てて、スライド映写機で投影するように次々と液晶モニターに表示されます。
スライドショーメニューでスライドショーの開始と終了、スライド再生間隔、再生の順番が設定できます。

スライドショーメニューの使い方

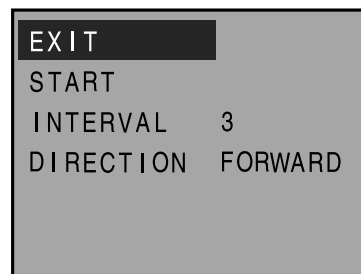
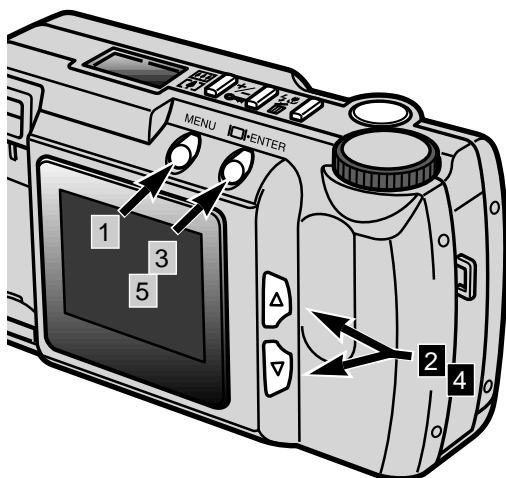
再生モードで、モード切り替えスイッチを ⏲ 位置にし、液晶モニターをENTERボタンで表示させます。
メニューボタンを押すとスライドショーメニュー画面が表示されるので、変更したい設定を反転させ選びます。

1 メニューボタンを押すとスライドショーメニュー画面を表示させます。

2 ▲または▼のスクロールボタンで変更したい機能を選びます。

3 ENTERボタンを押すとで選んだ機能が反転し、設定が選択できるようになります。

4 スクロールボタンで変更したい設定を選びます。

5 ENTERボタンを押して変更した設定を実行します。

スライドショーメニュー画面

スライドショーメニューの表示と設定

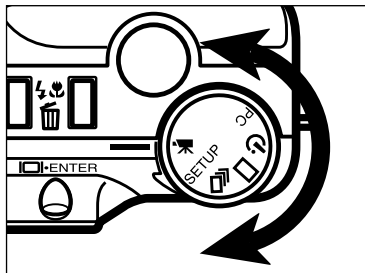
表示と機能	設定	機　能
EXIT（終了）	（なし）	スライドショーを終了させます。
START（開始）	（なし）	スライドショーを開始させます。
INTERVAL（再生間隔）	3〜60秒	再生する時間を３秒から６０秒の間で設定できます。
DIRECTION（再生順序）	FORWARD REVERSE RANDOM	再生する順序を選択します。 FORWARD:　コマ番号順に再生します。 REVERSE:　コマ番号の逆順に再生します。 RANDOM:　ランダムに再生します。

スライドショーの開始

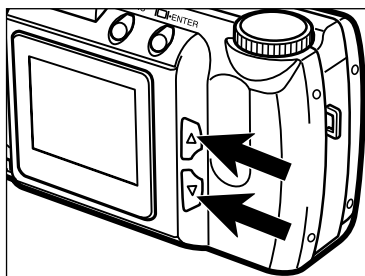
1 左ページのステップ2で、▲または▼のスクロールボタンSTARTを選択します。

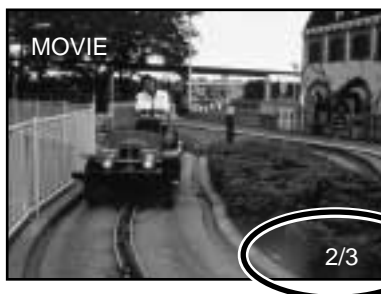
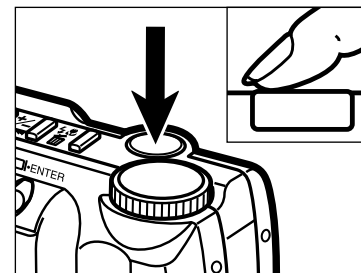
2 ENTERボタンを押すと、スライドショーメニューで選んだ設定にしたがってスライドショーを開始します。

※スライドショーで再生中は、カメラのオートパワーオフは働きません。
※スライドショーの停止は、EXITを選択して、ENTERボタンを押します。
※モード切り替えダイヤルを回して、▭、▭、PC、SETUPのいずれかの位置にしても、スライドショーは停止します。
※ INTERVAL(再生時間)と DIRECTION(再生する順序)は、カメラの電源をオフにすると３秒間隔でコマ番号順に設定し直されます。

再生中の画像のコマ番号/総画像数

1 モード切り替えスイッチを回して、🎥(動画）位置にします。

2 液晶モニター/ENTERボタンを1秒以上押します。

●液晶モニターに動画モードを表すMOVIE、撮影済みの動画本数を表す数字（右図の場合は３本の動画のうち、最後に撮影した動画）が表示されています。
●動画最初の画面が表示されます。

3 カメラ背面のスクロールボタンで見たい動画を選びます。

●スクロール▼ボタンを1回押すと1つ前（2/3）の動画の最初の画面が表示されます。▼ボタンをもう1回押すともう一つ前の動画（1/3）の最初の画面が表示されます。

●液晶モニターに動画最初の画面と、動画モードを表すMOVIEと、撮影済みの動画本数を表す数字が表示されます。

4 シャッターボタンを半押しします。

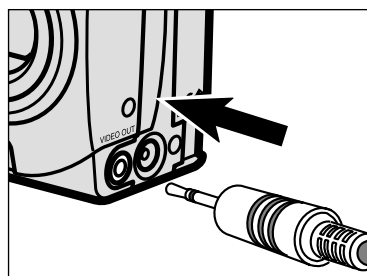
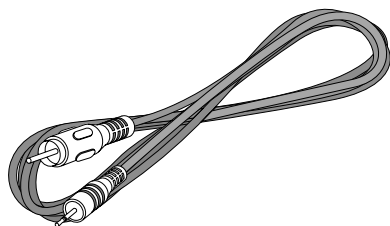
●動画の再生が開始されます。

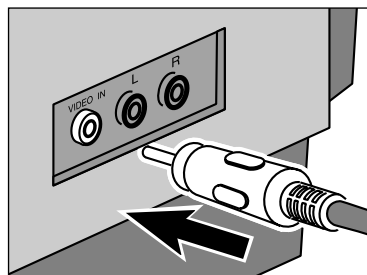
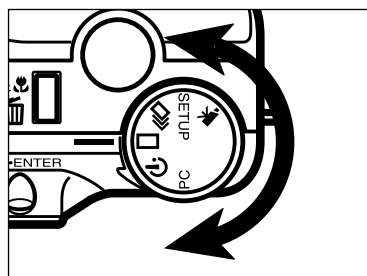
●動画が再生中にシャッターボタンを半押しすると画像は一時停止し、**PAUSE**と表示されます。

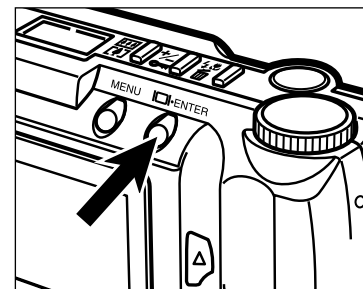
●もう一度半押しすると再度再生を開始します。

※液晶モニターの上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
※動画の再生が完了すると、その動画の最初の画面に戻り、動画再生が停止します。
※動画再生中に▲または▼のスクロールボタンを押すと、その動画再生は中断して、次の動画または前の動画の最初の画面に移ります。
※動画が停止しているとき（動画の最初の画面で停止しているとき）、モード切り替えダイヤルを回して、□、▭、PC、SETUPのいずれかの位置にすると、動画モードからそれぞれのモードに切り替わります。
※動画再生モードを中止しカメラの電源を切るには、液晶モニター/ENTERボタンを押します。

テレビに接続して画像を見る

付属のビデオケーブルで、カメラとテレビをつなぐと、撮影使用とする画像（ライブビュー）や、撮影済みの画像をテレビで見ることができます。

1 付属品のビデオケーブル のミニプラグ側をカメラ左側のビデオ出力端子に差し込みます。

●カメラのビデオ出力端子にビデオケーブル のミニプラグ側を差し込むと、カメラ本体の液晶モニターは消灯します。

2 ビデオケーブル のもう一端を、テレビのビデオ入力端子に差し込みます。

3 モード切り替えダイヤルを回して、再生モードを選びます。

- 1コマ再生
- インデックス再生
- スライドショー
- 動画再生

4 レンズカバースイッチを再生位置にして、液晶モニター/ENTERボタンを1秒以上押し、希望の画像を再生します。

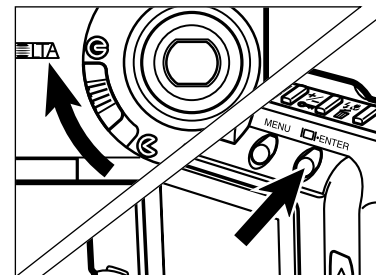
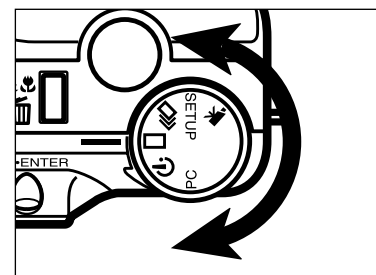
5 テレビのチャンネルを、ビデオ入力に切り替えます。

●CFカードに記録された画像が、カメラの液晶モニターに表示されるのと同様にテレビ画面に表示されます。

6 本書62ページ～に記載の操作方法で、画像をテレビ画面上に再生します。

●液晶モニターで再生する同じ方法で、テレビ画面上で再生することができます。

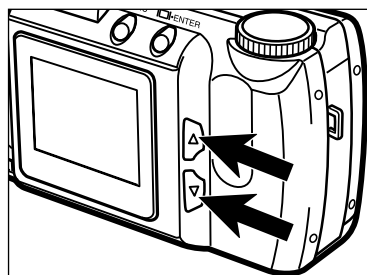
再生応用編 I

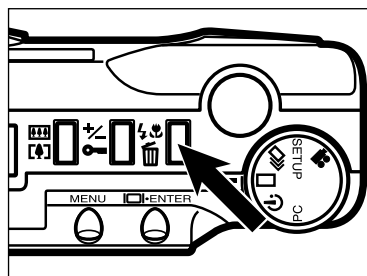
ボタン操作で画像を消去や誤消去防止します

1 レンズカバースイッチを再生位置にして、液晶モニター/ENTERボタンを1秒以上押します。
- 再生モードになり液晶モニターが点灯します。

2 モード切り替えダイヤルを回して、1コマ再生モード、インデックス再生モード、または動画再生モードにします。
- しばらくすると、最新の（一番最後に記録された）画像が液晶モニターに表示されます。

※再生応用編では以上の操作を行なった後、次ページ以降（78〜81ページ）の操作を行なってください。

1コマ（1クリップ）の消去

消去ボタンを使うと、CFカード内の画像を液晶モニターで確認しながら、不要な静止画は1コマ、動画は1クリップ（1本）ずつ消去できます。

> **注意** いったん消去した画像を復活させることはできません。消去の作業は慎重に行ってください。重要な画像に誤消去防止の設定（☞ 80ページ参照）をしておくと、誤って消去してしまうことを防ぐことができます。

1 カメラ背面の▲または▼のスクロールボタンで、消去したい画像を液晶モニターに表示させます。

●静止画の場合インデックス再生を使うと、目的の画像をすばやく探すことができます（☞ 65ページ参照）。

2 フラッシュモード/消去ボタン を押します。

●液晶モニターに消去するかどうかの確認画面が表示されます。

DELETE?
NO
YES
SELECT:ENTER

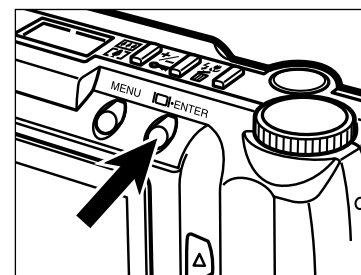
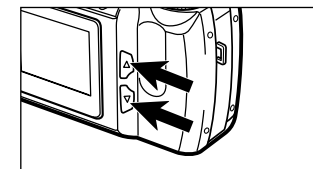
1コマまたは動画再生での消去確認表示

静止画インデックス再生での消去確認表示

DELETE?
NO
YES
SELECT:ENTER

3 確認画面で▲または▼のスクロールボタンでYESを反転させます。

●削除したくないときは、NOを反転させます。

DELETE?
NO
YES
SELECT:ENTER

4 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

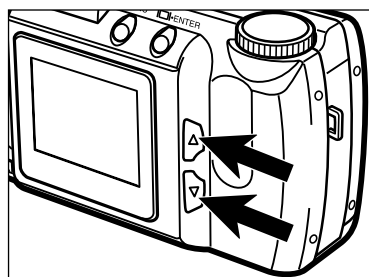
●液晶モニターに表示させた静止画または動画が消去されます。次のコマが表示されるまで他の操作をしないでください。

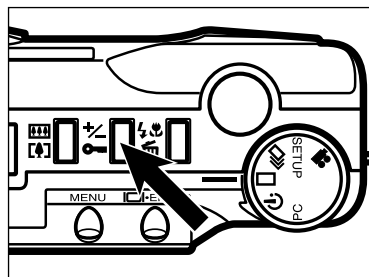
5 他に消去したい画像があるときは、1～4の操作を繰り返します。

※CFカード内の誤消去防止設定されていない画像を、すべて消去することもできます。詳しくは、84ページをご覧ください。

誤消去防止ボタンを使うと、重要な静止画や動画を誤って消去してしまうことを防ぐことができます。
85ページの「誤消去防止設定していないすべての画像を消去」と組み合わせて使用すると、誤消去防止の設定をした画像だけ残して他の静止画だけ、あるいは動画だけをすべて消去することができます。

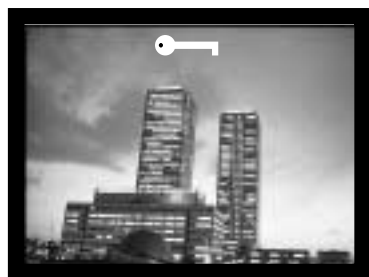
注意　CFカードをフォーマット(初期化、☞100ページ参照)すると、誤消去防止の設定をしている画像も消去されます。

誤消去防止の設定

1 カメラ背面の▲または▼のスクロールボタンで、誤消去防止を設定したい静止画または動画を液晶モニターに表示させます。

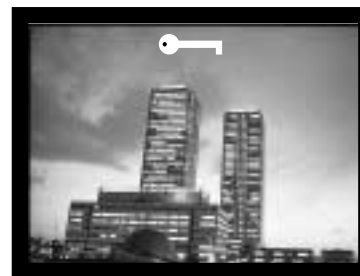
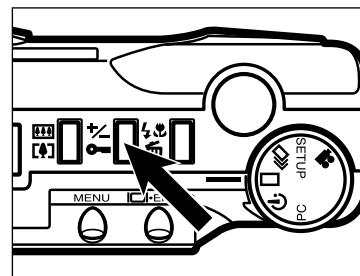
- 静止画の場合インデックス再生を使うと、目的の画像をすばやく探すことができます(☞65ページ参照)。

2 露出補正/ロックボタン を押します。

- 液晶モニター画面上部中央に誤消去防止設定されたことを示す鍵マーク の絵記号が現れます。

1コマ再生での誤消去防止表示

インデックス再生での誤消去防止表示
選択されている画像の枠が白く反転し、誤消去防止されている場合は**鍵マークが現れます。**

3 他に誤消去防止設定したい画像があるときは、操作1～2を繰り返します。

※すべての画像を誤消去防止設定することもできます。詳しくは、85ページをご覧ください。

誤消去防止設定の解除

1 カメラ背面の▲または▼のスクロールボタンで、誤消去防止設定を解除したい画像を液晶モニターに表示させます。

2 露出補正/ロックボタンを押します。

- 液晶モニターに表示させた画像の誤消去防止設定が解除されます。
- 液晶モニター**上部中央の鍵マーク の絵記号**も消えます。

3 他に誤消去防止を解除したい画像があるときは、操作1～2を繰り返します。

※誤消去防止の設定をしている画像を1コマ消去しようとすると、液晶モニターにIMAGE LOCKEDと表示され、消去できない画像であることをお知らせします。

再生モードのメニュー MENU

メニューボタンを使うと、すべての静止画あるいは動画に誤消去防止を設定したり、解除したりすることができます。またDPOFを利用してプリントする静止画の指定もできます。

> **注意** **いったん消去した画像を復活させることはできません。消去の作業は慎重に行ってください。重要な画像には誤消去防止の設定(☞ 80ページ参照)をしておくと、誤って消去してしまうことを防ぐことができます。**

再生モードのメニューの使い方

1 メニューボタン(MENU)を押しメニュー画面を表示させます。
- ●再生モードのメニューが液晶モニターに表示されます。
- ●再生モード設定メニューを非表示にするには、MENUボタンをもう1度押します。

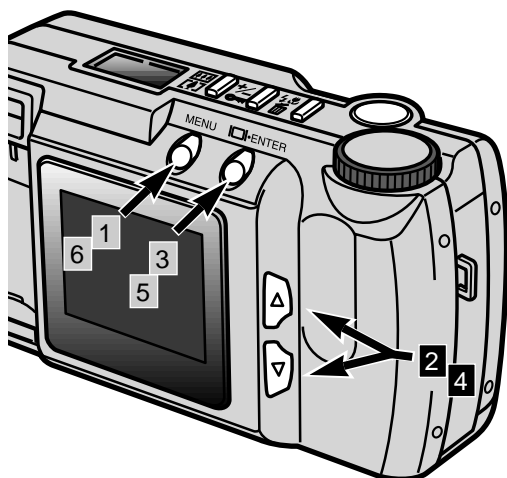
2 ▲または▼のスクロールボタンで変更したい項目を選びます。

3 ENTERボタンを押すと選んだ項目が反転し、設定が選択できるようになります。

4 スクロールボタンで変更したい設定を選びます。

5 ENTERボタンを押して変更した設定を実行します。

6 メニューボタンを押してメニュー画面を終了し、再生モードにもどります。

MENU ENTER 1 6 3 5 2 4

再生メニュー画面（液晶モニター）

DELETE ALL
LOCK ALL
UNLOCK ALL
PRINT STD

各項目ごとの設定可能な項目

再生メニュー画面

DELETE ALL すべての画像の消去
LOCK ALL すべての画像の誤消去防止
UNLOCK ALL すべての画像の誤消去防止を解除

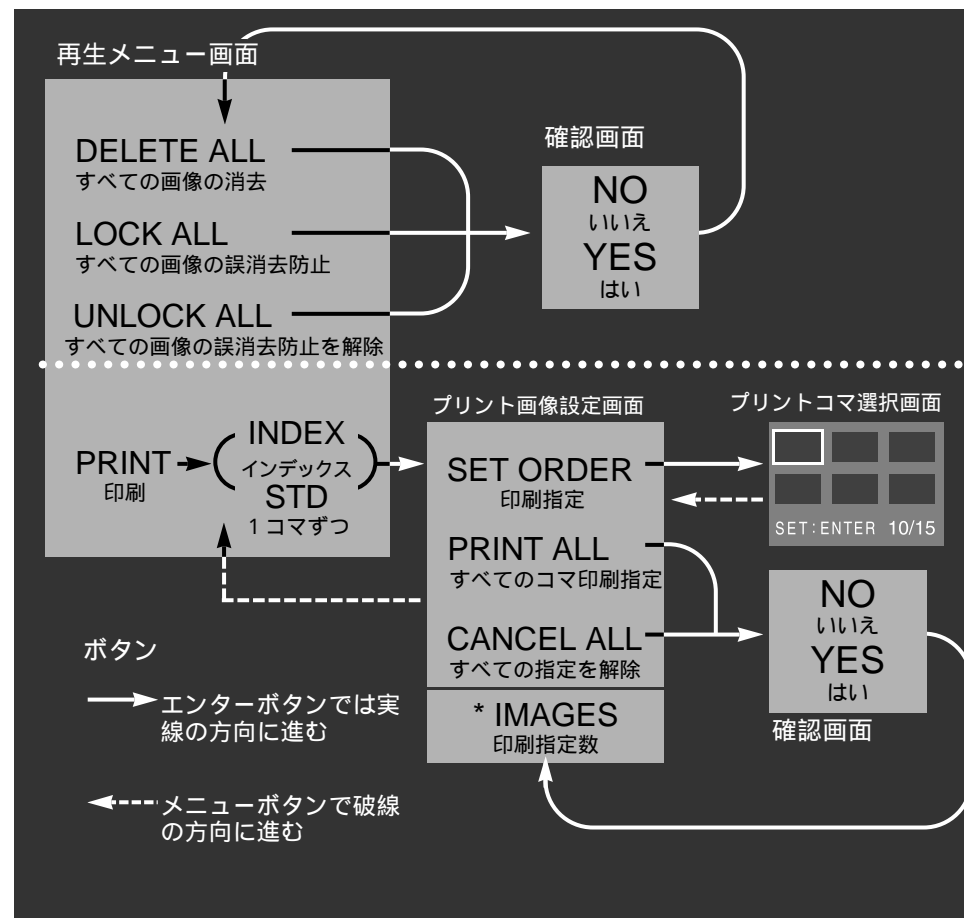
確認画面
NO いいえ
YES はい

PRINT 印刷 → (INDEX インデックス / STD 1コマずつ)

プリント画像設定画面
SET ORDER 印刷指定
PRINT ALL すべてのコマ印刷指定
CANCEL ALL すべての指定を解除
* IMAGES 印刷指定数

プリントコマ選択画面
SET:ENTER 10/15

NO いいえ
YES はい
確認画面

ボタン
→ エンターボタンでは実線の方向に進む
←--- メニューボタンで破線の方向に進む

すべての画像の消去 MENU

誤消去防止設定されている画像をのぞいて、CFカード内の画像をすべて消去します。

注意 いったん消去した画像を復活させることはできません。消去の作業は慎重に行ってください。
大切な画像を誤って消去しないように誤消去防止することができます。（☞ 80ページ参照）

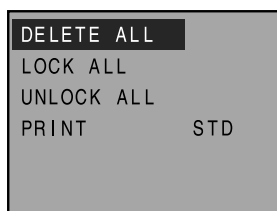
すべての画像の消去方法

1 すべての静止画を消去する場合１コマモードに、あるいはすべての動画を消去する場合動画モードにしてから、メニューボタン(MENU)を押しメニュー画面を表示させます。

2 ▲または▼のスクロールボタンで実行したい項目 DELETE ALL（すべての画像の消去）を選びます。

DELETE ALL
LOCK ALL
UNLOCK ALL
PRINT STD

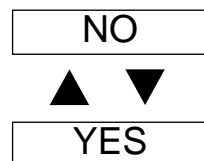
１コマモードのすべての静止画像の消去

DELETE ALL
LOCK ALL
UNLOCK ALL

動画モードのすべての動画の消去

3 ENTERボタンを押すと選んだ項目の確認画面に変わります。

4 スクロールボタンで消去するYES（イエス）を選びます。

DELETE ALL？
NO
YES
SELECT：ENTER

NO
▲ ▼
YES

5 ENTERボタンを押して すべての画像の消去 YES(イエス)を実行します。
- すべての画像が消去されるとNO IMAGESと表示されます。
- 誤消去防止設定されていない残りの画像が消去されます。その場合SOME IMAGES LOCKEDと表示されます。

6 MENUボタンを押してメニュー画面を終了します。

すべての画像の誤消去防止 再生

一度の操作で、すべての画像に誤消去防止の設定をすることができます。

注意 CFカードをフォーマット（初期化、☞ 100ページ参照）すると、誤消去防止の設定をしている画像も消去されます。

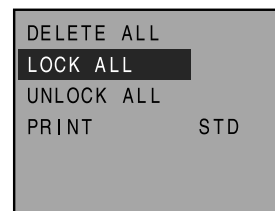
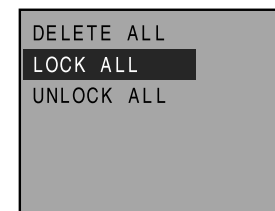
すべての画像の誤消去防止方法

1 すべての静止画を誤消去防止する場合１コマモードに、あるいはすべての動画を誤消去防止する場合、動画モードにしてから、メニューボタン(MENU)を押しメニュー画面を表示させます。

2 ▲または▼のスクロールボタンで実行変更したい項目 LOCK ALL（すべての画像の誤消去防止）を選びます。

DELETE ALL
LOCK ALL
UNLOCK ALL
PRINT STD

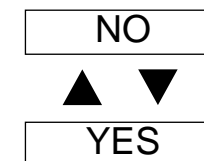
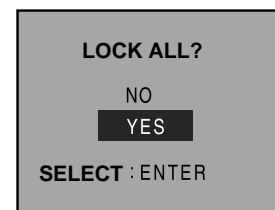
１コマモードのすべての静止画像の誤消去防止

DELETE ALL
LOCK ALL
UNLOCK ALL

動画モードのすべての動画の誤消去防止

3 ENTERボタンを押すと選んだ項目の確認画面に変わります。

4 スクロールボタンで消去するYES（イエス）を選びます。

LOCK ALL?
NO
YES
SELECT：ENTER

NO
▲ ▼
YES

5 ENTERボタンを押して すべての画像の誤消去防止YES(イエス)を実行します。

6 MENUボタンを押してメニュー画面を終了します。

すべての画像の誤消去防止解除 MENU

再生

一度の操作で、すべての画像の誤消去防止を解除することができます。

すべての画像の誤消去防止解除方法

1 すべての静止画の誤消去防止を解除する場合は１コマモードに、あるいはすべての動画の誤消去防止を解除する場合は動画モードにしてから、メニューボタン(MENU)を押しメニュー画面を表示させます。

2 ▲または▼のスクロールボタンで実行変更したい項目 UNLOCK ALL（すべての画像の誤消去防止解除）を選びます。

DELETE ALL
LOCK ALL
UNLOCK ALL
PRINT STD

１コマモードのすべての静止画像の誤消去防止解除

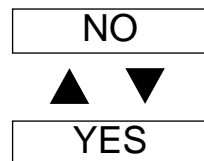
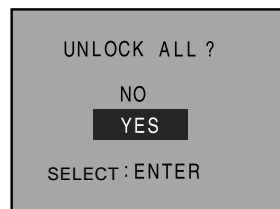
DELETE ALL
LOCK ALL
UNLOCK ALL

動画モードのすべての動画の誤消去防止解除

3 ENTERボタンを押すと選んだ項目の確認画面に変わります。

4 スクロールボタンで消去するYES（イエス）を選びます。

UNLOCK ALL ?
NO
YES
SELECT：ENTER

NO
▲ ▼
YES

5 ENTERボタンを押して すべての画像の誤消去防止解除 YES(イエス)を実行します。

6 MENUボタンを押してメニュー画面を終了します。

画像の消去・誤消去防止・誤消去防止解除のまとめ

画像１コマの消去
液晶モニターに呼びだした静止画あるいは動画を、1コマずつ消去する場合に使います。
一度消去された画像は、復元できません。

画像１コマの誤消去防止（保護）
液晶モニターに呼びだした静止画あるいは動画を、1コマずつ誤消去防止に設定する場合に使います。
誤消去防止を解除することもできます。

MENU DELETE ALL すべての画像の消去
CFカード内の誤消去防止されていないすべての画像を一度に消去する場合に使います。
一度消去された画像は、復元できません。
残しておきたい画像は、84ページの「1コマ誤消去防止設定」の方法で誤消去防止にしておいてください。
静止画像と動画像は一度にすべてを消去することはできません。
静止画像を消去する場合は、モード切り替えダイヤルを1コマモードにしてください。
動画像を消去する場合は、モード切り替えダイヤルを動画モードにしてください。

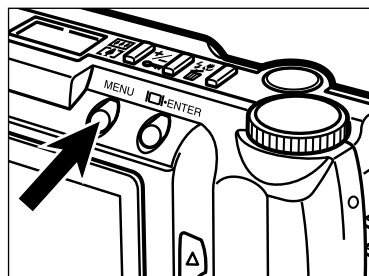
MENU LOCK ALL すべての画像の誤消去防止（保護）
CFカード内のすべての画像を消去できないようにします。
誤消去防止が設定されている画像は、誤消去防止を解除しないかぎり消去できません。
ただしCFカードを初期化すると、すべての画像は消去されていまいますのでご注意ください。
静止画像と動画像は一度にすべてを誤消去防止設定にすることはできません。
静止画像を誤消去防止にする場合は、モード切り替えダイヤルを1コマモードにしてください。
動画像を誤消去防止にする場合は、モード切り替えダイヤルを動画モードにしてください。

MENU UNLOCK ALL すべての画像の誤消去防止解除
CFカード内のすべての画像の誤消去防止の設定を解除します。
誤消去防止解除されてた画像は、メニューボタンを使ったすべての画像を消去する方法で消去されてしまいますのでご注意ください。
静止画像と動画像は一度にすべてを誤消去防止解除することはできません。
静止画像を誤消去防止解除する場合は、モード切り替えダイヤルを1コマモードにしてください。
動画像を誤消去防止解除する場合は、モード切り替えダイヤルを動画モードにしてください。

DPOFによるプリント指定 MENU

このカメラは、プリントしたいコマやプリントタイプの指定がカメラで行える「DPOF（Digital Print Order Format）」をサポートしています。
撮影した静止画像を保存したCFカードの記録メディアを使って、DPOF対応のお店や自宅のプリンターで簡単にプリントすることができて便利です。

※DPOFは、イーストマンコダック社、キャノン株式会社、富士写真フィルム株式会社、松下電器産業株式会社が共同で提案したフォーマットです。

プリントタイプの選択

1 モード切り替えダイヤルを回して、□位置または□にしてメニューボタンで再生メニュー画面を呼びだします。

MENU　ENTER

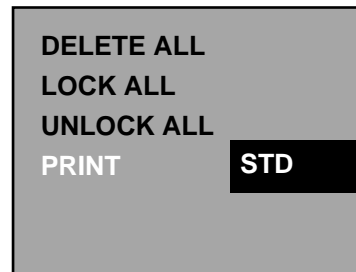
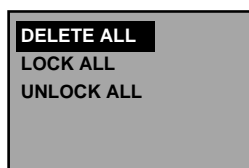
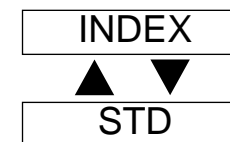
2 ▲または▼のスクロールボタンを押してPRINTを反転させます。

DELETE ALL
LOCK ALL
UNLOCK ALL
PRINT　STD

再生メニュー画面

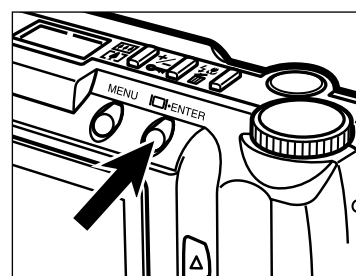
●動画モードにはプリントの設定がありません。（動画の画面はプリントできません。）

DELETE ALL
LOCK ALL
UNLOCK ALL

DELETE ALL
LOCK ALL
UNLOCK ALL
PRINT　STD

3 液晶モニター/ENTERボタンを押して、プリントタイプを選択します。▲または▼のスクロールボタンで、設定したいプリントタイプが変更できます。

INDEX
▲ ▼
STD

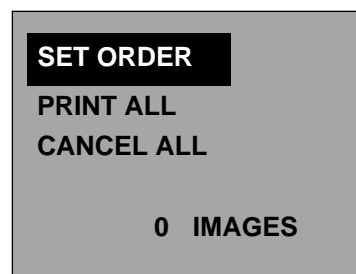
●プリントタイプは、以下の順序で切り替わります。

STD（スタンダード）　：1枚ずつ印刷します。
INDEX（インデックス）：インデックスプリントを印刷します。

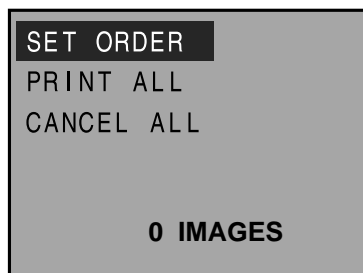
スタンダードプリント　インデックスプリント

4 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●操作**3**で表示させた印刷タイプが設定され、プリント画像設定画面が表示されます。

MENU　ENTER

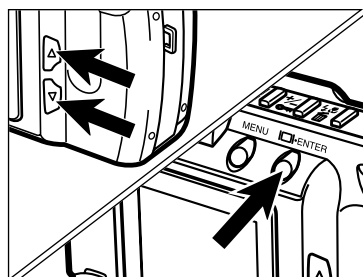
SET ORDER
PRINT ALL
CANCEL ALL
0　IMAGES

※続けて、印刷する画像（コマ）を選択します。

プリントする画像を選択する

SET ORDER
PRINT ALL
CANCEL ALL
0 IMAGES

1 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

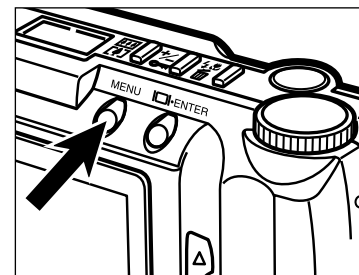
●プリントコマ選択画面が表示されます。
●CFカードに保存されている画像がサムネイル表示されます。

サムネイル画像
白枠

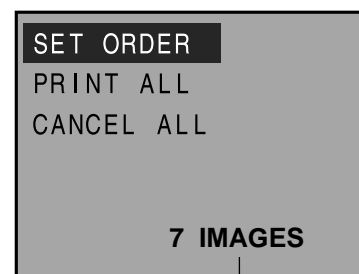
SET:ENTER 3/8

2 ▲または▼のスクロールボタンを押して、プリントしたい画像の周りに白枠を移動し、液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●白枠が白の下線に変わり、プリントされる画像として選択されたことをお知らせします。
●液晶モニター/ENTERボタンをもう一度押すと、選択が解除されます（下線から白枠に戻ります）。

SET:ENTER 5/8

●操作2を繰り返して、プリントしたい画像すべてに下線を表示させます。

3 メニューボタンを押します。

●操作2で選択した画像の印刷指定が設定され、印刷の指定画面1に戻ります。
液晶モニター画面には、プリントされる画像の数（操作2で選択した画像の数）が表示されます（この例では、7つの画像がプリントされます）。

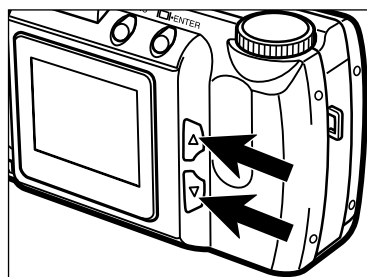
SET ORDER
PRINT ALL
CANCEL ALL
7 IMAGES

プリントされる画像の数

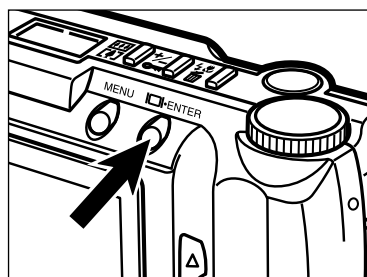
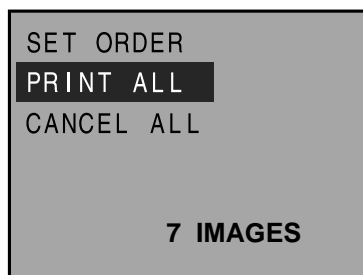
4 メニューボタンをもう一度押します。

●再生モード設定メニューに戻ります。

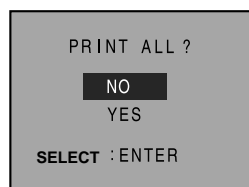
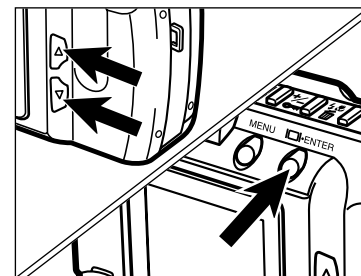
すべての画像をプリントする

DELETE ALL
LOCK ALL
UNLOCK ALL
PRINT STD

1 88～89ページの操作1～4にしたがって、プリントタイプを設定します。

2 ▲または▼のスクロールボタンを押してPRINT ALLを反転させます。

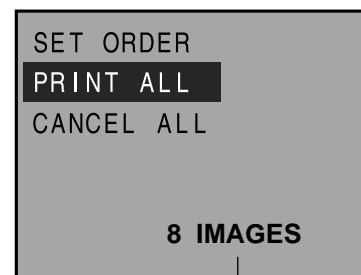
SET ORDER
PRINT ALL
CANCEL ALL
7 IMAGES

3 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●すべての画像をプリントしてよいか、確認の画面が表示されます。

PRINT ALL ?
NO
YES
SELECT :ENTER

確認画面

▲または▼のスクロールボタンを押して、YESを反転させ液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●CFカード内のすべての画像がプリントされる画像として設定され、操作1の画面に戻ります。液晶モニター画面には、プリントされる画像の数（CFカード内の画像の数）が表示されます（この例では、8の画像がプリントされます）。

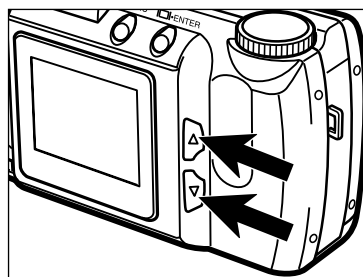
SET ORDER
PRINT ALL
CANCEL ALL
8 IMAGES

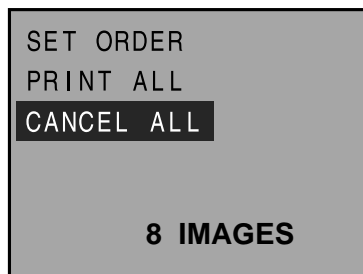
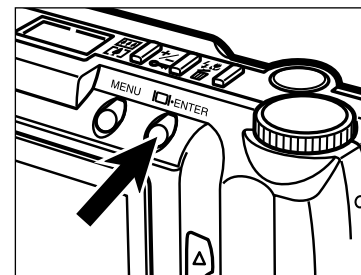
プリントされる画像の数
（CFカード内のすべての画像をプリントする指定なので、CFカードに保存されている画像の数が表示されます。）

5 メニューボタンをもう一度押します。

●再生モード設定メニューに戻ります。

プリントをキャンセルする

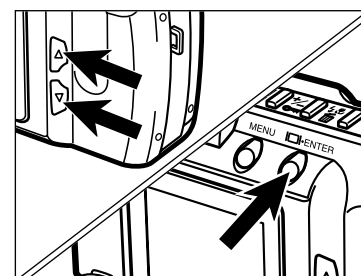
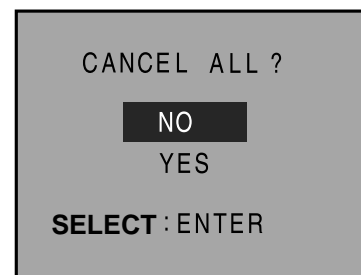
DELETE ALL
LOCK ALL
UNLOCK ALL
PRINT STD

1 88～89ページの操作1～4にしたがって、プリントタイプを設定します。

2 ▲または▼のスクロールボタンを押して、CANCEL ALLを反転させます。

SET ORDER
PRINT ALL
CANCEL ALL
8 IMAGES

CANCEL ALL（すべての指定を解除）すると、すべてのSTD（スタンダードプリント）または、INDEX（インデックスプリント）の指定だけが解除されます。
したがってSTDでCANCEL ALLを実行しても、INDEX の指定が設定してあった場合は、そのプリント設定は残っています。

3 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

- プリント指定をキャンセルしてよいか、確認の画面が表示されます。

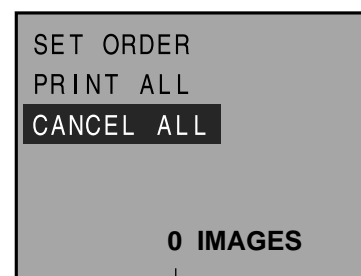
CANCEL ALL ?
NO
YES
SELECT : ENTER

PRINT ALL ?
NO
YES
SELECT : ENTER

4 ▲または▼のスクロールボタンを押してYESを反転させ、液晶モニター/ENTERボタンを押します。

- すべてのプリント指定がキャンセルされ、操作1の画面に戻ります。液晶モニター画面に表示される、プリントされる画像の数も0（ゼロ）になります。

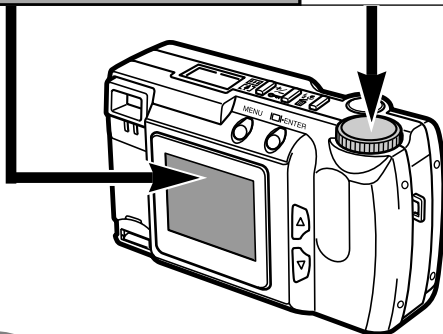
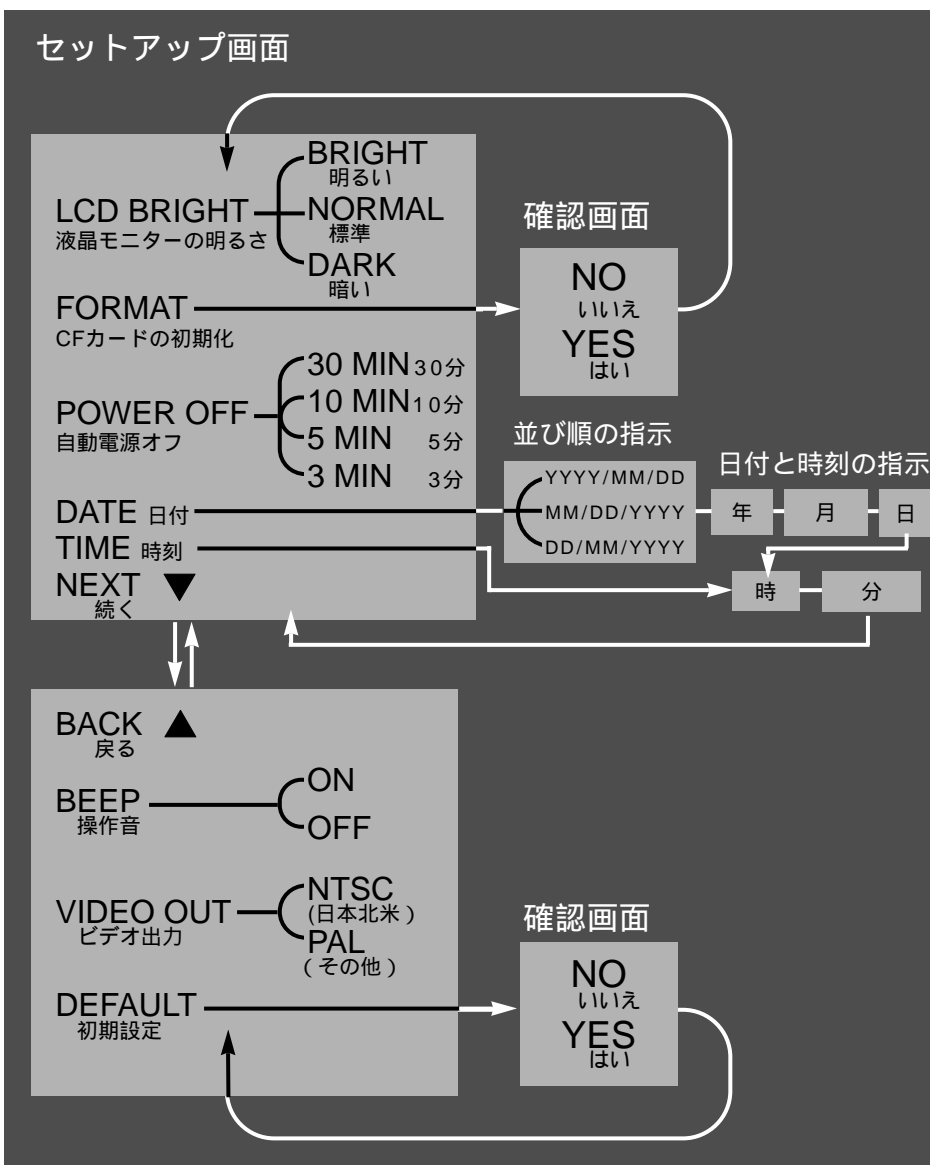
5 メニューボタンをもう一度押します。

- 再生モード設定メニューに戻ります。

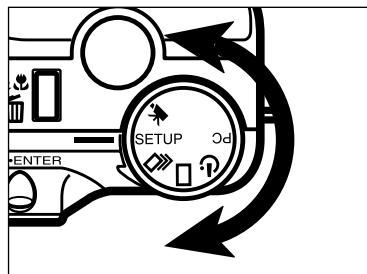
SET ORDER
PRINT ALL
CANCEL ALL
0 IMAGES

プリントされる画像の数
（キャンセル操作ですので、0（ゼロ）になります。）

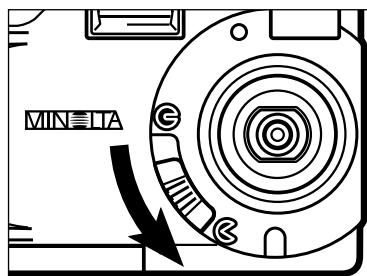
モード切り替えダイヤルでこんな機能も選べます

セットアップモード/PCモードで設定可能な項目

液晶モニター表示	モード切り替えダイヤル	特　長
LCD BRIGHT NORMAL FORMAT POWER OFF 3MIN DATE 00/01/24 TIME 15:37 NEXT ▼	SETUP	セットアップモードを使って、「液晶モニターの明るさの選択」「CFカードをフォーマット」「自動電源オフの長さの選択」「日付・時刻を合わせる」「操作音の有無の選択」「ビデオ出力方式の選択」「工場出荷時の設定状態に戻す」などができます。
PC MODE	PC	パソコンと接続して、カメラのCFカードに保存されている画像をパソコンに移し替えて保存できます。

セットアップ画面の構成

液晶モニターの明るさ(LCD BRIGHT)

液晶モニターの明るさの選択

周囲の明るさや見る角度によっては、液晶モニターの明るさを調整することで、よりはっきりと画像を見ることができます。

1 モード切り替えダイヤルを回して、SETUP 位置にします。

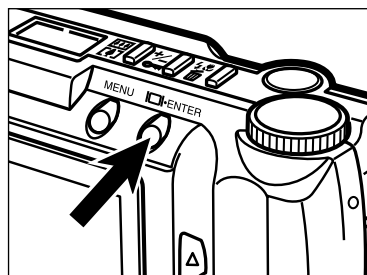
SETUP
ENTER

2 レンズカバースイッチを位置にします。または、レンスカバースイッチを位置にして、液晶モニター/ENTERボタンを1秒以上押します。

●設定メニューが表示されます。

MINOLTA

LCD BRIGHT	NORMAL
FORMAT	
POWER OFF	3MIN
DATE	00/01/24
TIME	15:37
NEXT ▼	

3 ▲または▼のスクロールボタンでLCD BRIGHTを選択します。

MENU ENTER

4 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

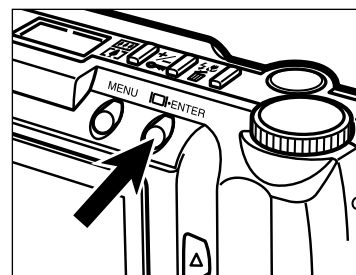
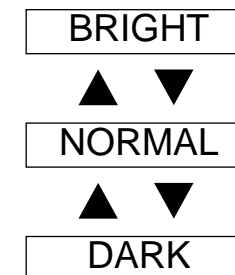
●液晶モニターの明るさが調整できるようになります。

LCD BRIGHT	BRIGHT
FORMAT	
POWER OFF	3MIN
DATE	00/01/24
TIME	15:37
NEXT ▼	

5 ▲または▼のスクロールボタンを押して、設定したい明るさを選びます。

●明るさは以下の順序で切り替わります。

BRIGHT
▲ ▼
NORMAL
▲ ▼
DARK

MENU ENTER

6 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

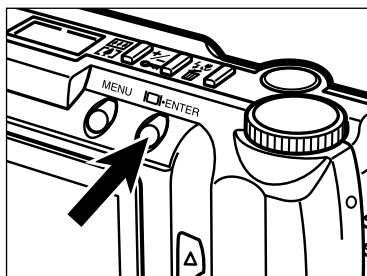
●操作5で表示させた明るさになります。
●液晶モニターは設定メニューに戻ります。

LCD BRIGHT	BRIGHT
FORMAT	
POWER OFF	3MIN
DATE	00/01/24
TIME	15:37
NEXT ▼	

CFカードの初期化(FORMAT)

CFカードをフォーマット（初期化）する場合は以下の方法でフォーマットしてください。CFカードをフォーマットすることで、記録されているすべての画像を消去することができます。

> **注意　誤消去防止の設定をしている画像もすべて消去されます。フォーマット（初期化）の作業は慎重に行ってください。**

LCD BRIGHT	BRIGHT
FORMAT	
POWER OFF	3MIN
DATE	00/01/24
TIME	15:37
NEXT ▼	

1 98ページの1、2を行なった後、▲または▼のスクロールボタンを押して、FORMATを選択します。

MENU ENTER

2 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●フォーマットをしてもよいか、確認の画面が表示されます。

FORMAT ?

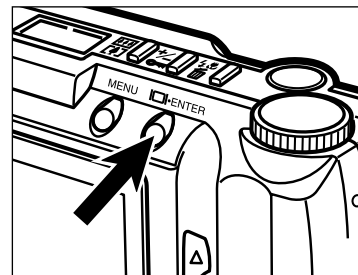
NO

YES

SELECT：ENTER

3 ▲または▼のスクロールボタンを押してYESを反転させます。

●フォーマットしたくないときはNOを反転させます。

MENU ENTER

4 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

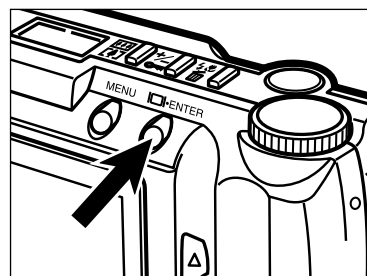
●フォーマット（初期化）後、液晶モニターは操作1の画面に戻ります。

自動電源オフまでの時間設定(POWER OFF)

このカメラは何も操作をしないと(ボタンを押さないと)、節電のため自動的に電源が切れます。ここでは最後に操作してから自動的に電源が切れるまでの時間を設定することができます。

LCD BRIGHT	BRIGHT
FORMAT	
POWER OFF	3MIN
DATE	00/01/24
TIME	15:37
NEXT ▼	

1 98ページの1、2を行なった後、▲または▼のスクロールボタンを押してPOWER OFFを選択します。

MENU ENTER

2 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●現在の設定が反転されます。

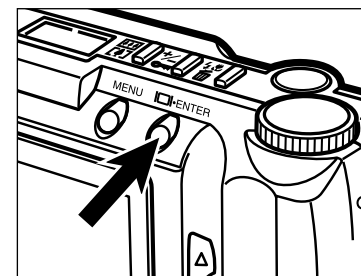
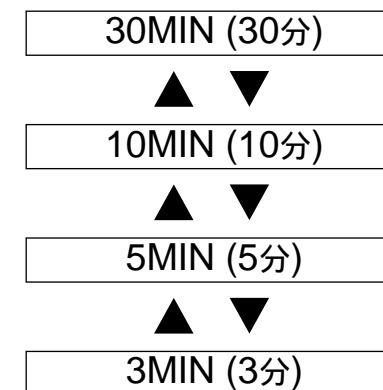
LCD BRIGHT	BRIGHT
FORMAT	
POWER OFF	3MIN
DATE	00/01/24
TIME	15:37
NEXT ▼	

LCD BRIGHT	BRIGHT
FORMAT	
POWER OFF	10MIN
DATE	00/01/24
TIME	15:37
NEXT ▼	

3 ▲または▼のスクロールボタンを押して、設定したい時間を表示します。

●時間は以下の順序で切り替わります。

30MIN (30分)
▲ ▼
10MIN (10分)
▲ ▼
5MIN (5分)
▲ ▼
3MIN (3分)

MENU ENTER

4 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●操作3で表示させた時間が設定されます。
●液晶モニターは操作1の画面に戻ります。
●ここで設定した時間は、電池を使用しているときのみ有効です。ACアダプターを使用しているときの自動電源オフまでの時間は、30分で固定されています。
●パソコンと接続してカメラを使用するPCモードの場合は、自動電源オフまでの時間は、30分で固定されています。(☞128ページを参照)

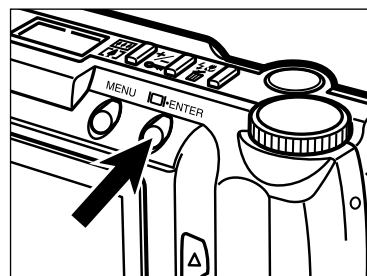
LCD BRIGHT	BRIGHT
FORMAT	
POWER OFF	10MIN
DATE	00/01/24
TIME	15:37
NEXT ▼	

日付・時刻を合わせる(DATE・TIME)

このカメラは、撮影した日時が記録されます。日付または時刻の修正が必要な場合は、以下の手順で行ってください。

LCD BRIGHT	BRIGHT
FORMAT	
POWER OFF	10MIN
DATE	00/01/24
TIME	15:37
NEXT ▼	

1 98ページの1、2を行なった後、▲または▼のスクロールボタンを押して DATE を選択します。

●時刻のみを設定したいときは、**TIME** を選択し、操作5へ進みます。

2 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●日付・時刻設定画面が表示されます。

STYLE	YYYY/MM/DD
DATE	2000/01/14
TIME	15:37
SELECT : ENTER	
ADJUST : UP / DOWN	

▼（例：日、月、年の並び方）

STYLE	DD/MM/YYYY
DATE	14/01/2000
TIME	15:37
SELECT : ENTER	
ADJUST : UP / DOWN	

3 ▲または▼のスクロールボタンを押して設定したい年月日の並び順を表示させます。

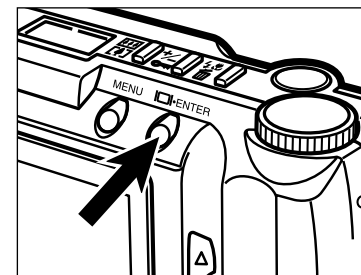
●年月日の並び順は以下の順序で切り替わります。

YYYY/MM/DD
(年 - 月 - 日)

▲ ▼

MM/DD/YYYY
(月 - 日 - 年)

▲ ▼

DD/MM/YYYY
(日 - 月 - 年)

4 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●**年** が反転されます。操作3で **TIME** を反転させたときは **時** が反転されます。

STYLE	DD/MM/YYYY
DATE	14/01/2001
TIME	15:37
SELECT : ENTER	
ADJUST : UP / DOWN	

▲または▼のスクロールボタンを押して数値を修正します。

●年は2098年まで設定できます。

STYLE	DD/MM/YYYY
DATE	25/01/2001
TIME	15:37
SELECT : ENTER	
ADJUST : UP / DOWN	

液晶モニター/ENTERボタンを押して変更したい箇所の数値を反転表示させます。

●液晶モニター/ENTERボタンを1回押すごとに、反転する箇所が、年→月→日→時→分 の順で移動します。

STYLE	DD/MM/YYYY
DATE	25/01/2001
TIME	10:45
SELECT : ENTER	
ADJUST : UP / DOWN	

5 "分"の数値を修正したら、液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●内蔵時計が動き始めます。画面は設定メニュー画面に戻ります。

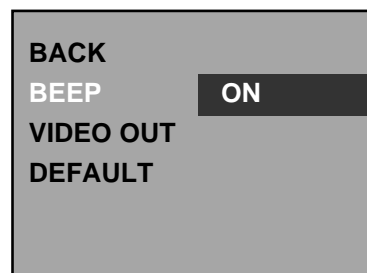
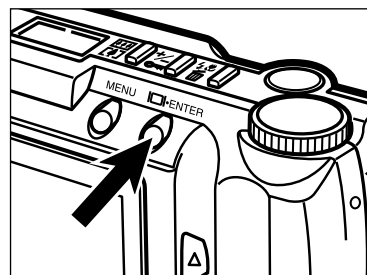
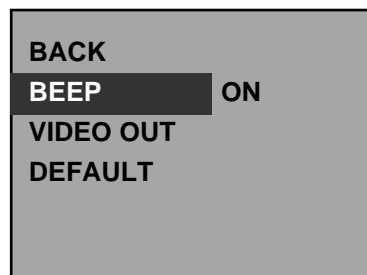
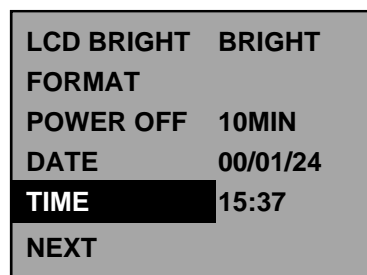
**※電池を入れたときや交換したときは、カメラの日付と時刻が正しいか確認してください。特に、ACアダプターを使用しない状態で10分以上カードスロット/電池室ふたを開けっ放しにしておくと、日付と時刻がリセットされます。
日付と時刻がリセットされたときは、日付と時刻を設定し直してください。**

操作音の有無の選択(BEEP)

このカメラは、フラッシュモードボタンやメニューボタンなどのボタン操作するたびに「ピッ」と操作音を出します。その音を消すことができます。

LCD BRIGHT　BRIGHT
FORMAT
POWER OFF　10MIN
DATE　00/01/24
TIME　15:37
NEXT ▼

▲ ▼

BACK ▲
BEEP　ON
VIDEO OUT
DEFAULT

1 98ページの1、2を行なった後、NEXTを表示からさらに▼ボタンを押すと次のセットアップメニュー画面が現れます。

●次のセットアップメニューでは、**BEEP(**操作音)の有無、**VIDEO OUT**(ビデオ出力)の種類の設定ができます。もとのセットアップメニュー画面にもどるには、何回か▲ボタンを押して戻ります。

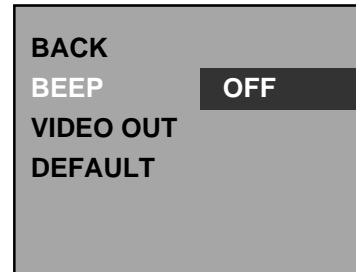
2 ▲または▼のスクロールボタンを押してBEEPを選択します。

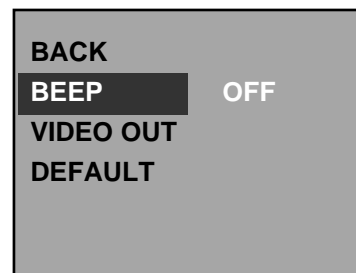
MENU　ENTER

3 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●**BEEP**が反転し、初期設定の**ON**が変更可能になります。

BACK ▲
BEEP　ON
VIDEO OUT
DEFAULT

BACK ▲
BEEP　OFF
VIDEO OUT
DEFAULT

4 ▲または▼のスクロールボタンを押して設定をOFFに修正します。

BACK ▲
BEEP　OFF
VIDEO OUT
DEFAULT

5 液晶モニター/ENTERボタンを押し、設定を確定します。

●これで操作音「ピッ」は鳴らない設定になりました。
●液晶モニターは操作2の画面に戻ります。

ビデオ出力方式の選択(VIDEO OUT)

このカメラにはビデオ出力機能がありますので、付属品のビデオケーブルでカメラとテレビをつなぐと、撮影した画像をテレビに映して見ることができます。
カメラからの映像出力信号の方式を、NTSC または PAL に切り替えることができます。

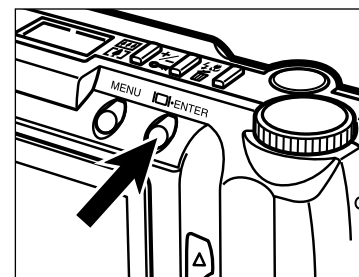
●日本国内でご使用の時は、このビデオ出力方式を変更する必要はありません。

NTSC, PAL とは
どちらもカラーテレビ放送の方式の名称。NTSC方式は、主にアメリカ、日本、カナダ、メキシコ、フィリピン、韓国などで使われています。PAL方式は、ドイツ、イギリス、スイス、オランダ、イタリアなどの(フランスを除く)西ヨーロッパの多くの国々や、オーストラリア、シンガポール、タイ、中国などで採用されています。
お互いの方式に互換性はありませんので、たとえば日本国内向け仕様のテレビをそのままドイツへ持っていっても、ドイツのテレビ放送を見ることはできません。
このカメラは映像出力信号の方式を NTSC または PAL に切り替えることができますので、国内はもちろん、PAL方式の国でも画像をテレビに映して見ることができます。

BACK ▲
BEEP ON
VIDEO OUT NTSC
DEFAULT

1 98ページの1、2を行なった後、▲または▼のスクロールボタンを押してVIDEO OUTを選択します。

●日本国内でご使用の時は、このビデオ出力方式を変更する必要はありません。

MENU ENTER

2 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●**VIDEO OUTが反転し、初期設定のNTSC**が変更可能になります。

BACK ▲
BEEP ON
VIDEO OUT NTSC
DEFAULT

3 ▲または▼のスクロールボタンを押して設定をPALに修正します。

BACK ▲
BEEP ON
VIDEO OUT PAL
DEFAULT

4 液晶モニター/ENTERボタンを押し、設定を確定します。

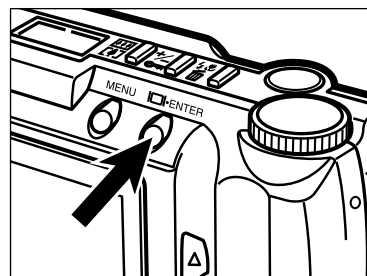
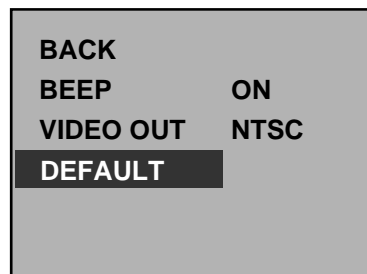
●これでこのカメラはPAL方式のテレビで再生できるようになりました。
日本国内でお使いになる場合は再度1からの手順でビデオ出力方式をNTSC方式に設定しなおしてください。
●液晶モニターは操作1の画面に戻ります。

BACK ▲
BEEP ON
VIDEO OUT PAL
DEFAULT

購入時の設定に戻す(DEFAULT)

セットアップモードのDEFAULTでYESを選択して実行すると、一度の操作で以下の設定に戻すことができます。

	購入時の設定
画質（P.48）	STD.（スタンダード）
画像サイズ（P.50）	FULL
ホワイトバランス（P.51）	AUTO
シャープネス（P.52）	NORMAL
ISO感度（P.53）	NORMAL
時間間隔（スライドショー、P.70）	3 seconds（3秒）
方向（スライドショー、P.70）	FORWARD（コマ番号順に再生）
液晶モニターの明るさ（P.98）	NORMAL
自動電源オフまでの時間（P.102）	3MIN（3分）
操作音の有無（P.106）	ON
ビデオ出力（P.108）	NTSC（日本国内向け）

BACK ▲
BEEP ON
VIDEO OUT NTSC
DEFAULT

1 98ページの1、2を行なった後、▲または▼のスクロールボタンを押してDEFAULTを選択します。

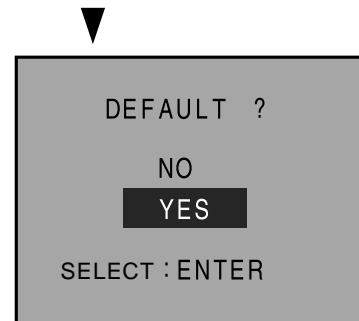
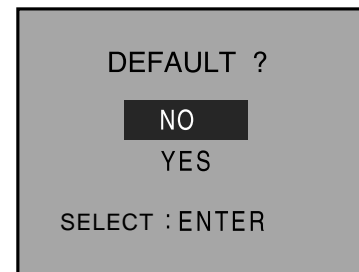
MENU ENTER

2 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

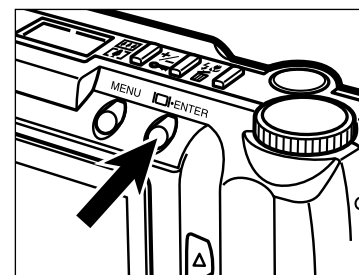
●確認の画面が表示されます。

DEFAULT ?
NO
YES
SELECT : ENTER

▼

DEFAULT ?
NO
YES
SELECT : ENTER

3 確認の画面が出たら、▼ボタンを押してYESを選択します。

●購入時の設定に戻したくないときはNOを選択します。

MENU ENTER

4 液晶モニター/ENTERボタンを押します。

●前ページに記載の設定が、購入時のものに戻ります。
●液晶モニターは、セットアップメニューの画面に戻ります。

カメラとパソコンを接続する前に、以下の使用説明をよくお読みください。もしエラーが発生するとカメラ、CFカードあるいは画像データが壊れる可能性があります。

動作環境について

このカメラはUSBインターフェイスを介してパーソナルコンピュータに接続できます。付属のCD-ROM for DiMAGE E201に収録している各ソフトウェアの使用には以下の環境が必要です。

USBマスストレージドライバ

カメラとパソコとを付属のUSBケーブルでつなぐと、カメラ内のCFカードが「リムーバブル ディスク」としてパソコン上で認識されます。

動作環境	Windows	Macintosh
CPU	Pentium 90MHz以上	Power PC
OS	Windows98, Windows98SE, Windows2000, WindowsME	MacOS 9.0-9.1

同時に使用されるUSB機器によっては、正常に作動しない場合があります。
パソコンのUSBではなくパブに接続した場合は、正常に作動しない場合があります。
Windows®のそれぞれのOSで、ドライバソフトウェアあるいはUSB接続用設定ファイルをインストールする方法を116ページから121ページで説明しています。

静止画用レタッチソフト
Adobe PhotoDeluxe forファミリー(Windows)
Adobe PhotoDeluxe 2.0(Macintosh)

動作環境	Windows	Macintosh
CPU	Pentium IIまたは互換プロセッサ	68040又はPower PC
OS	Windows95,98,NT4.0日本語版	MacOS 8.6-9.1
必要メモリ	実装メモリとして32MB以上、NTの場合は64MB	16MB以上の空きメモリ
ハードディスク空き容量	100MB以上	70MB以上
モニター	800x600ドット16bitカラービデオディスプレイ用カラーモニタ	640x480 256色以上

WindowsMEは推奨されていませんが、使用上特に問題はありません。

E201 Exif Utility

このカメラで撮影した画像の撮影情報（撮影日、撮影時刻、シャッター速度、絞り値、露出補正、フラッシュ発光の有無）などをパソコン上で表示できるソフトウェアです。

動作環境	Windows	Macintosh
CPU	Pentium 90MHz以上	Power PC
OS	Windows98, Windows98SE、Windows2000、WindowsME	MacOS 9.0-9.1
必要メモリ	8MB以上	5MB以上
ハードディスク空き容量	10MB以上	10MB以上
モニター	640x480 256色以上	640x480 256色以上

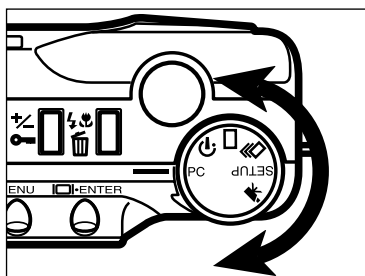
QuickTime 4.1

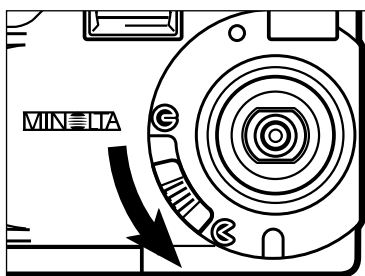
このカメラで撮影した動画のMotion JPEGデータをパソコン上で再生するソフトウェアです。

動作環境	Windows	Macintosh
CPU	Pentium プロセッサ	Power PC
OS	Windows95,98,NT4.0,2000	MacOS 7.5.5以上
必要メモリ	16MB以上	16MB以上

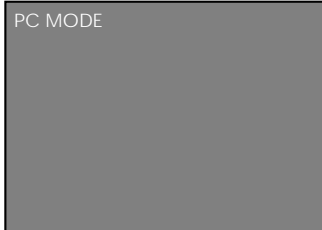
WindowsMEについては、ME用の動画再生ソフトのMedia Playerの使用を推奨します。

1 接続するパーソナルコンピュータの電源を入れて、オペレーティングシステム（Windows® またはMac OS）を起動させます。

2 付属のCD-ROM for DiMAGE E201をパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

3 カメラのモード切り替えダイヤルを回して、PC 位置にします。

- **カメラの電源を入れる前に、まずモード切り替えダイヤルをPC位置にしてください**。カメラの電源が入ったままでモード切り替えダイヤルを PC位置にしても、うまく接続できません。

4 カメラにCFカードが入っていることを確認し、カメラの電源をオンにします。

- 上面データパネルにPC MODEと表示され、PC接続モードになったことをお知らせします（下図）。

PC MODE

5 端子カバーを開け、付属USBケーブルのコネクタの幅の広い方を、カメラのUSB端子に差し込みます。

- 付属のUSBケーブルのコネクタで、USBと書いてある方を上にしてカメラに差し込んでください。

6 付属USBケーブルのコネクタのもう片方を、パソコン本体のUSBポートに差し込みます。

- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく差し込まれていないと正常に動作しません。
- USBハブ経由で接続すると、他のUSB機器やUSBハブの状態によって、正常に動作しない場合があります。パソコン本体のUSBポートに直接接続することをおすすめします。

（☞ 次ページに続く）

Windows® OS用ドライバのインストール

Windows®98/Windows®98 Second Editionをご使用の方は、はじめての接続時に、前ページの「パソコンとの接続」に続き、付属のCD-ROM for DiMAGE E201からUSBマスストレージドライバをインストールする必要があります。

USBマスストレージドライバのインストール

1 [新しいハードウェアの追加ウィザード] 画面が表示されたら、[次へ>] をクリックします。

2 左図の画面が表示されたら、[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨)] を選択し、[次へ>] をクリックします。

3 左図の画面が表示されたら、CD-ROM ドライブに、CD-ROM for DiMAGE E201のをセットし、[検索場所の指定(F)] を選択して、[参照（R)] をクリックします。

●ご使用のコンピュータによっては、ファイルのコピー中にWindowsシステムCD-ROMをセットするメッセージが表示されることがあります。この場合はDiMAGE E201のCD-ROMをWindowsシステムCD-ROMに差し替えメッセージに従って操作してください。

4 ファイルの場所の画面が表示されますので、[CD-ROM(D:)]、[Driver]、[win98]の順にファイルを選択します。

5 [次へ>] をクリックします。

6 デバイスドライバが検出されると左図のような画面が表示されますので、[次へ>] をクリックします。

7 デバイスドライバのインストールが終了すると左図のような画面が表示されますので、[完了] をクリックします。

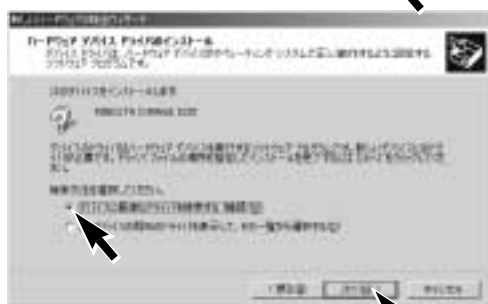
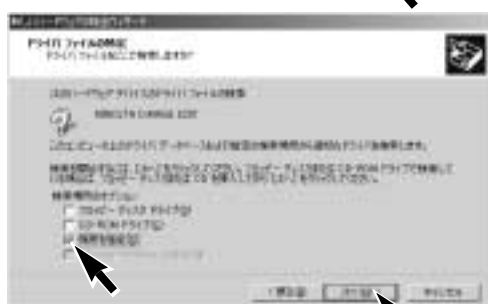
●マイコンピュータを開くと、カメラ内のCFカードが「リムーバブルディスク」としてアイコンが現れます（左下図）。
●(C:)あるいは(E:)などのドライブ名は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

リムーバブル ディスク (E:)

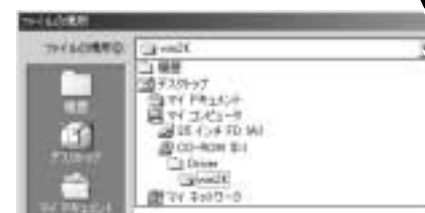
Windows® OS用ドライバのインストール

Windows®2000professionalをご使用の方は、はじめての接続時に114ページの「パソコンとの接続」に続き、付属のCD-ROM for DiMAGE E201を使ってUSB接続設定用ファイルを使用する必要があります。

USB接続設定用ファイルの使用

1 新しいハードウェアの検索ウィザードの画面が表示されたら、[次へ(N)>] をクリックします。

2 左図の画面が表示されたら、[デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)(S)] を選択し、[次へ(N)>] をクリックします。

3 左図の画面が表示されたら、CD-ROM for DiMAGE E201の をCD-ROMドライブにセットし、[場所を指定(S)] のチェックボックスをチェックして、[次へ(N)>] をクリックします。

● ご使用のコンピュータによっては、ファイルのコピー中にWindowsシステムCD-ROMをセットするメッセージが表示されることがあります。この場合はDiMAGE E201のCD-ROMをWindowsシステムCD-ROMに差し替えメッセージに従って操作してください。

4 [参照(B)>] をクリックします。

5 ファイルの場所の画面で、[CD-ROMの(D:)]、[Driver]、[win2K]の順にファイルを選択します。

6 ファイルの場所を指定したあと、[OK] をクリックします。

7 [次へ(N)>] をクリックします。

8 USB接続設定用ファイルのインストールが終了すると左図のような画面が表示されますので、[完了] をクリックします。

● マイコンピュータを開くと、カメラ内のCFカードが「リムーバブルディスク」としてアイコンが現れます(下図)。
● (C:)あるいは(E:)などのドライブ名は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

リムーバブル ディスク (E:)

Windows® OS用ドライバのインストール

Windows®Meをご使用の方は、はじめての接続時に114ページの「パソコンとの接続」に続き、付属のCD-ROM for DiMAGE E201を使ってUSB接続設定用ファイルを使用する必要があります。

USB接続設定用ファイルの使用

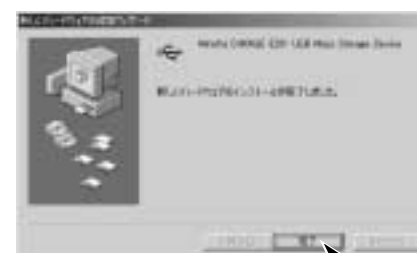
1 ［新しいハードウェアの追加ウィザード］の画面が表示されたら、［ドライバの場所を指定する］を選択し［次へ>］をクリックします。

2 左図の画面が表示されたら、［使用中のデバイスに最適なドライバを選択する］の、［検索場所の指定(L)］を選択し、［参照(R)>］をクリックします。

3 左図の画面が表示されたら、DiMAGE E201の CD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、［CD-ROM ドライブ（D:)］、［Driver］、［winME]を選択します。

●ご使用のコンピュータによっては、ファイルのコピー中にWindowsシステムCD-ROMをセットするメッセージが表示されることがあります。この場合はDiMAGE E201のCD-ROMをWindowsシステムCD-ROMに差し替えメッセージに従って操作してください。

検索場所を指定したあと、［次へ>］をクリックします。

4 検出されると左図のような画面が表示されますので、［次へ>］をクリックします。

5 USB接続設定用ファイルのインストールが終了すると左図のような画面が表示されますので、［完了］をクリックします。

●マイコンピュータを開くと、カメラ内のCFカードが「リムーバブルディスク」としてアイコンが現れます（下図)。
●(D:)あるいは(E:)などのドライブ名は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

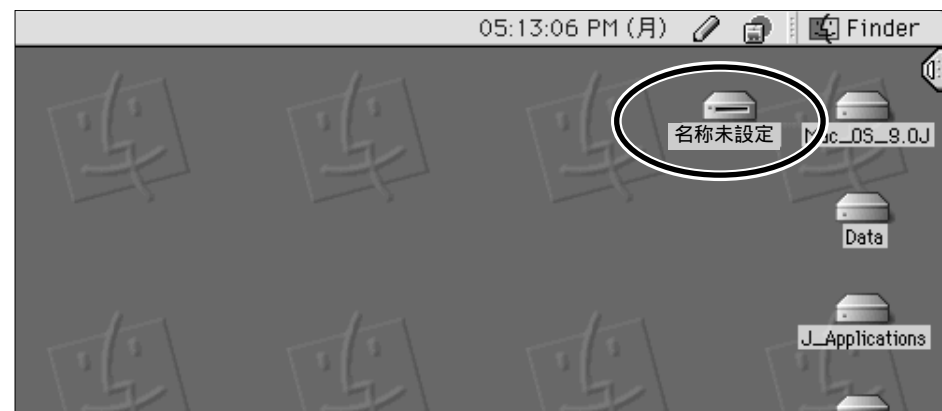
リムーバブル ディスク (E:)

Mac OSをお使いの方へ

USB端子を標準装備し、Mac OS 9.0-9.1をプリインストールしたMacintosh では、パーソナルコンピュータとカメラとが正常に接続されると、カメラ内のCFカードが「名称未設定」あるいは「EXTERMAL」などのリムーバブルメディアとして認識され、Finder上にマウントされます（☞右123ページ下図）。

USBマスストレージドライバ

パーソナルコンピュータとカメラとが正常に接続され、さらにUSBマスストレージドライバやUSB接続設定用ファイルが正常にインストールされると、カメラ内のCFカードが「リムーバブル ディスク」として認識され、Windows®ではマイ コンピュータ上にそのアイコンが現れます。（下図では「E:ドライブ」として認識されています。このドライブ名は、お使いのパソコンの環境によって変わります。）

Macintoshでは、パーソナルコンピュータとカメラとが正常に接続されると、カメラ内のCFカードが「名称未設定」あるいは「EXTERNAL」のリムーバブルメディアとして認識され、Finder上にマウントされます（下図）。

CFカード内のフォルダ構成

このCFカード内の静止画像用のフォルダ構成は、DCF（Design rule for Camera File system）と呼ばれるフォーマットに準拠しています。

CFカードのルートディレクトリ直下に DCIM というフォルダが作成され、その中に 100MLT06 というフォルダが作成されます。そして撮影された静止画像は pict0001.jpg というファイル名でこの 100MLT06 フォルダ内に記録されます。その後撮影された画像もすべてこの 100MLT06 フォルダ内に記録されていきます。

記録される画像のファイル名は、" Pict " ＋ " 4桁の番号 " ＋ " .jpg " という構成になっています。4桁の番号が 9999 までは（ファイル名 pict9999.jpg までは）100MLT06 フォルダに記録されていきます（ただし、消去された画像のファイル番号は欠番になります）。そして、次の10000コマ目が記録されるときに、101MLT06 というフォルダが DCIMフォルダ内に新たに作成され、その10000コマ目の画像は、再び pict0001.jpg というファイル名でこのフォルダ（101MLT06）に記録されます。

リムーバブル ディスク (E:)
(Windows)

名称未設定
(Macintosh)

静止画のフォルダ

DCIM

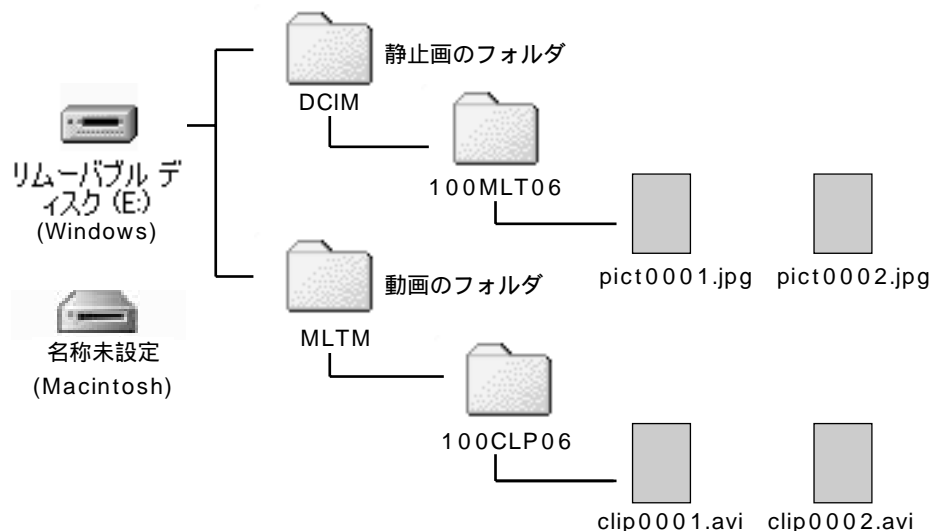
100MLT06

pict0001.jpg　pict0002.jpg

動画のフォルダ

MLTM

100CLP06

clip0001.avi　clip0002.avi

動画の場合、CFカードのルートディレクトリ直下に MLTMというフォルダが作成され、その中に 100CLP06 というフォルダが作成されます。そして撮影された静止画像は clip0001.aviというファイル名でこの 100CLP06 フォルダ内に記録されます。その後撮影された画像もすべてこの 100CLP06フォルダ内に記録されていきます。

Windows®の場合マイ コンピュータやエクスプローラで、Macintoshの場合はFinder(上)で、普通に(ドラッグ＆ドロップで)ファイルをコピーするのと同じ要領で、CFカード内の画像をお使いのパーソナルコンピュータの任意の場所にコピーしたり、ハードディスク内の画像ファイルをCFカードにコピーしたりできます。

※リムーバブル ディスクのアイコンが表示されない場合、リムーバブルメディアが(ボリュームとして)マウントされない場合は、パーソナルコンピュータを再起動してみてください。

※マイ コンピュータやエクスプローラ、Finderでのファイルのコピー操作については、各コンピュータに付属のマニュアルやヘルプ等をご覧ください。

※CFカードをフォーマットするときは、カメラのセットアップモードのCFカードの初期化(☞ 100ページ参照)の方法でフォーマットしてください。

うまく接続できないときは、以下の点を確かめてください。

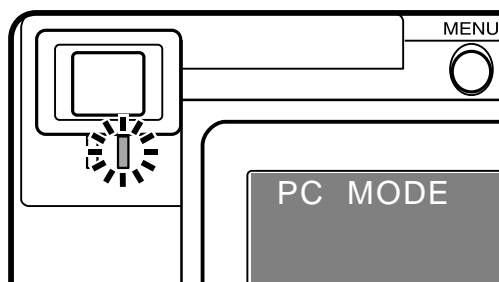
- *カメラは「PC接続モード」になっていますか？ ☞ モード切り替えダイヤルをPC位置にセットして、カメラの電源を入れ直してください (→ P. 114)。*
- *カメラの電源は入っていますか？ ☞ カメラ/パソコン両方の電源が入った状態で接続してください。*
- *カメラにCFカードが入っていますか？ ☞ カメラの電源をいったん切って、CFカードを正しく入れてください (→ P. 26、114)。*
- *USBケーブルは、カメラ側/パソコン側どちらとも奥まで確実に差し込まれていますか？ ☞ 奥まで確実に差し込んでください (→ P. 114)。*
- *USBハブ経由で接続していませんか？ ☞ パソコン本体のUSBポートに直接接続してください (ハブ経由の場合、他のUSB機器やUSBハブの状態によっては正常に動作しないことがあります)。*

上記の点に問題がない場合は、114ページからの手順に沿って、再度接続操作を行ってください。

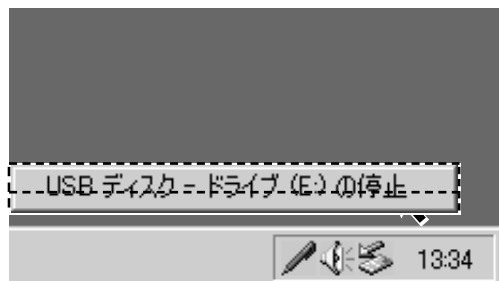
USBケーブルを取り外すときは

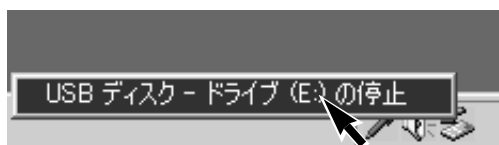
USBケーブルを取り外すときは、以下の手順で操作してください。

■Windows®の場合

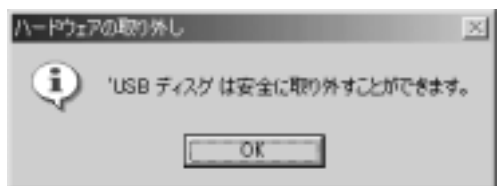
MENU
PC MODE

1 カメラのフォーカス表示(緑ランプ）が消えていることを確認し、USBケーブルを取り外します。

Windows®のOSのバージョンによっては、USBケーブルを取り外す前に、以下の操作が必要な場合があります。

USB ディスク - ドライブ (E:) の停止
13:34

2 タスクバー（パソコンの画面右下）に表示されているハードウェア取り外しアイコンをクリックし、ます。

●タスクバーの上にUSBディスク-ドライブ(E:)の停止(破線内）が表示されます。

USB ディスク - ドライブ (E:) の停止

3 USBディスク-ドライブ(E:)の停止の表示をクリックし、ます。

ハードウェアの取り外し
'USB ディスク' は安全に取り外すことができます。
OK

4 [OK]をクリックし、USBケーブルを取り外します。

●表示内容はそれぞれのWindowsOSによって若干異なって表示されます。

■Mac OSの場合

1 カメラのフォーカス表示（緑ランプ）が消えている（点滅していない）ことを確認してから、リムーバブルメディア（のボリューム）のアイコンを「ごみ箱」へドラッグ＆ドロップします。

●同じ（ボリュームの）アイコンが再びデスクトップに現れます。

2 USBケーブルを取り外します。

● 1の操作をしないでUSBケーブルを取り外すと、警告のメッセージが表示されますので、USBケーブルを抜く前にかならず 1の操作をしてください（ただし、警告のメッセージが表示されても、OKをクリックすれば、そのまま操作を続けることができます）。

パソコン接続時のご注意

★パーソナルコンピュータとカメラとを接続しているとき、および、接続して画像データをお互いにやり取りしているときは、**以下の操作をしないでください**。パーソナルコンピュータやカメラがエラー表示やフリーズなど異常動作したり、CFカード内の画像データが消去・破壊されることがあります。

- **カメラの電源を切る**
- **USBケーブルを取り外す**
- **モード切り替えダイヤルでモードを変える**
- **CFカードの抜き差し**

★USBケーブルを取り外すときは、かならずカメラのフォーカス表示（緑ランプ）が消えている（点滅していない）ことを確認してから、126ページ、127ページに記載の操作で行ってください。

特に、Windows®2000 Professionalの場合、USBケーブルを取り外すときは、パーソナルコンピュータのハードディスクアクセスランプが消えている（ハードディスクへのアクセスが発生していない）ことを確認し、かならず126ページ、128ページ記載の手順で操作してください。

Windows®2000 Professionalでは、パソコン画面表示でコピーが終了しても、実際のデータ交信は終了していないことがあります（遅延書き込みが行われるため）。画面上に何もメッセージが表示されなくても、バックグラウンドで画像データがやり取りされていますので、その間にカメラの電源を切ったり、USBケーブルを取り外したり、モード切り替えダイヤルでモードを変えたりすると、パーソナルコンピュータやカメラがエラー表示やフリーズなど異常動作することがあります。

★パーソナルコンピュータと接続しているときは、自動電源オフが働くまでの時間は、使用している電源やセットアップモードでの設定に関係なく自動的に30分になります（☞102ページ参照）。

★パーソナルコンピュータとカメラとを接続して画像データをお互いにやり取りするときは、カメラの電池容量が十分であることを確認してください。電池容量が少ないと、操作の途中で電池切れでカメラの電源が切れることがあります。データ交信中にこのようなことが起きると、パーソナルコンピュータやカメラがエラー表示やフリーズなど異常動作したり、CFカード内の画像データが消去・破壊されることがあります。

パーソナルコンピュータと接続して使用されるときは、4本とも新品のアルカリ乾電池、または、4本ともフル充電されたニッケル水素電池をお使いください。別売アクセサリのACアダプターAC-1あるいはAC-1Lのご使用をおすすめします。

このカメラはWindows®95/Windows®NT環境のパソコンに直接接続してお使いいただくことはできません。撮影した画像をWindows®95/Windows®NT環境のパソコンへ取り込みたい場合は市販のCFカードリーダー等をパソコンに接続して、CFカード内の画像をパソコン内にコピーしてお使いください。

Adobe PhotoDeluxeのインストール

■IBM-PC/AT および その互換機へのインストール

1. パーソナルコンピュータの電源を入れ、Windows®を起動させます。
2. CD-ROMドライブにAdobe PhotoDeluxe CD-ROMをセットします。
3. セットアッププログラムが起動するので、[次へ（N）>] をクリックします。
後は画面の指示にしたがって操作してください。

※セットアッププログラムが自動的に起動しない場合は、[スタート] → [ファイル名を指定して実行(R)...] を選び、[参照（R)...] をクリックします。
ファイルの場所の画面が表示されますので、[CD-ROMドライブ] → [JAPANESE] → [INSTALL] → [SETUP.EXE] の順で選んで［開く］をクリックしてください。

■Apple Macintoshへのインストール

1. パーソナルコンピュータの電源を入れ、Mac OSを起動させます。
2. CD-ROMドライブにAdobe PhotoDeluxe CD-ROMをセットします。
3. CD-ROMがデスクトップにマウントされたら、そのアイコンをダブルクリックして開きます。
4. [Adobe PhotoDeluxe™ Installer] アイコンをダブルクリックします。
後は画面の指示にしたがって操作してください。

Adobe PhotoDeluxeについて

この静止画用レッタッチソフトでは、画面の指示にしたがって作業を進めることができます。詳しい使用方法については、ヘルプ機能を参照してください。

Windows®MEをご使用の方は、画像のショートカットをアプリケーションへドロップした場合、「ファイルが見つかりません。したがって「　」を開くことができませんでした。」と表示され、Adobe PhotoDeluxeは起動しますが、ファイルは開けません。その場合はPhotoDeluxeのファイルメニューの「開く」を選択して目的の画像ファイルを開いてください。

Windows®2000をお使いの場合、AcrobatReader(4.0)のインストール時にエラーダイアログが表示されます。そのままインストールを実行できますが、詳しくはAdobe 社のホームページhttp://www.adobe.co.jp/support/win 2000.html の Adobe AcrobatReader4.0の日本語版を参照してください。
またAdobe PhotoDeluxe をWindows®95/98にインストール後、Windows®2000にアップグレードを行なうと、「カラー印刷の調整機能」「PDFWriter」 が使えなくなります。その場合はPhotoDeluxe for ファミリー4.0をアンストールしてからWindows®2000にアップグレードし、その後PhotoDeluxe for ファミリー4.0を再度インストールしてください。

Adobe PhotoDeluxeのインストール作業後、Macintoshを再起動させると、『システムライブラリ“DragLib”が見つかりません。』または『システムライブラリがないため起動できません。dragLib--set dragimage。起動CD-ROMから読み込んでください。』などと表示され、起動しない場合があります。
これは、PhotoDeluxeインストーラがインストールする「DragLib」という機能拡張ファイルが原因と考えられます。OSのバージョンによっては、システム内にその機能がすでに組み込まれているため、同様の機能拡張ファイルが機能拡張フォルダ内に存在すると、コンフリクト(機能の衝突)を起こす可能性があるためです。対応としては、機能拡張マネージャ等で「DragLib」機能拡張ファイルを機能拡張フォルダから外してください。
詳しくは、アドビシステムズ社の以下のサイト
http://www.adobe.co.jp/supportservice/custsupport/SOLUTIONS/215603.html
をご覧ください。

■IBM-PC/AT および その互換機へのインストール

1. パーソナルコンピュータの電源を入れ、Windows®を起動させます。
2. CD-ROMドライブにCD-ROM for DiMAGE E201をセットします。
3. マイコンピュータからCD-ROMドライブを開き、[Utility]フォルダ→[JPN]フォルダを開きます。
4. [E201 Exif Utility.exe]のアイコンを、ドラッグ&ドロップでデスクトップやフォルダなどにコピーします。

■Apple Macintoshへのインストール

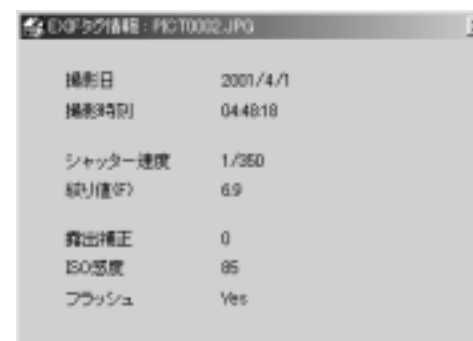
1. パーソナルコンピュータの電源を入れ、Mac OSを起動させます。
2. CD-ROMドライブにCD-ROM for DiMAGE E201をセットします。
3. CD-ROMがデスクトップにマウントされたら、そのアイコンをダブルクリックして開き、[Utility]フォルダ、[JPN]フォルダをダブルクリックして開きます。
4. ［E201Exif Utility］のアイコンをドラッグ&ドロップでデスクトップやフォルダなどにコピーします。

E201Exif Utilityの使い方

1 E201Exif Utiltiyのアイコンをダブルクリックして起動します。

●ファイル選択用の画面が現れます。

2 左図の画面が表示されたら、撮影情報を知りたい静止画像を選択し、[開く（O)]をクリックします。

●撮影情報表示画面が現れます。

撮影情報表示画面には、静止画像についての以下の情報が表示されます。

撮影日
撮影時刻
シャッター速度
絞り値(F)
露出補正値
ISO感度
フラッシュ発光の有無

QuickTimeのインストール

■IBM-PC/AT および その互換機へのインストール

1. パーソナルコンピュータの電源を入れ、Windows®を起動させます。
2. CD-ROMドライブにCD-ROM for DiMAGE E201 をセットします。
3. マイコンピュータからCD-ROMドライブを呼びだし、[Japanese]フォルダの中からQuickTime インストーラをダブルクリックします。
4. セットアッププログラムが起動するので、[次へ (N) >] をクリックします。後は画面の指示にしたがって操作してください。

※セットアッププログラムが自動的に起動しない場合は、[スタート] → [ファイル名を指定して実行(R)...] を選び、[参照 (R)...] をクリックします。
ファイルの場所の画面が表示されますので、[CD-ROMドライブ] → [QuickTime] → [JAPANESE] → [QuickTimeinstINSTALL] → [SETUP.EXE] の順で選んで [開く] をクリックしてください。

■Apple Macintoshへのインストール

1. パーソナルコンピュータの電源を入れ、Mac OSを起動させます。
2. CD-ROMドライブにDiMAGE E201 のCD-ROMを入れます。
3. CD-ROMがデスクトップにマウントされたら、そのアイコンをダブルクリックして開き[QuickTime]フォルダ、[Japanese]フォルダをダブルクリックして開きます。
4. [Quick Time™ Installer] アイコンをダブルクリックします。後は画面の指示にしたがって操作してください。

QuickTimeの使い方

QuickTime

1 QuickTimeのアイコンをダブルクリックして起動します。

●動画再生用の画面が現れます。

QuickTimePlayer

ファイル(F) 編集(E) ムービー(M) お気に

新規 Player(N) Ctrl+N
ムービーを開く...(O) Ctrl+O
URL を開く... Ctrl+U
閉じる Ctrl+W
ページ設定...(G)
プリント...(P) Ctrl+P
終了(X)

2 左図の画面が表示されたら、ファイル(F)から、「ムービーを開く...(O)」を選択します。

●ファイル選択用の画面が現れます。

3 再生したい動画を選択します。

4 動画ファイルを再生します。

●左図のボタンを押すと、さらに詳細な再生操作もできます。

資　料

故障かな？と思ったときは、次のことを調べてみてください。それでも調子が悪いときや分からないときは、「アフターサービスのご案内」に記載の当社サービスセンター・サービスステーションにお問い合わせください。

症状	点検項目	処置	ページ
オートフォーカスでピントが合わない	オートフォーカスの苦手な被写体を撮ろうとしていませんか。	フォーカスロック撮影を行ってください。	33
	被写体に近づきすぎていませんか。	レンズの最近接撮影距離より離れて撮影してください。	31
シャッターが切れない	カメラの電源が切れていませんか。	レンズカバースイッチをᗧ位置にして撮影モードにしてください。 カメラが再生モードのときは、レンズカバースイッチをᗧ位置にしてください。	28
	カメラは再生モードになっていませんか。		
	カメラが画像を処理中です。 （液晶モニターに「RECORDING」と表示されフォーカスランプ（緑色）がゆっくり点滅します。）	液晶モニターの「RECORDING」が消え、フォーカスランプ（緑色）の点滅が止まるまでお待ちください。	30
	コンパクトフラッシュカードがいっぱいで、空き記録領域がない。 （液晶モニターに「CARD FULL」と表示される。）	画質を下げる、画像サイズを小さくする、不要な画像を削除する、パーソナルコンピュータに画像を転送してから全画像を削除する、等で空き記録領域を作ってください。または、空き記録領域のあるコンパクトフラッシュカードと交換してください。	48 50 78 123 26

（☞次ページに続く）

不都合が生じたときは

症状	点検項目	処置	ページ
液晶モニターに画像がでない	カメラの電源が入っていない。	レンズカバースイッチを⊖位置にして、液晶モニター/ENTERボタンを1秒以上押します。	——
	再生モードになっていない。		
	電池が消耗している。	4本とも新しい電池に交換してください。または、別売のACアダプターをお使いください。	——
	電池の入れる向き（+／−）が間違っている。	電池を取り出し、電池室ふた裏側の表示にしたがって電池を正しく入れ直してください。	22
	コンパクトフラッシュ(CF)カードが挿入されていない、または、確実に挿入されていない。	上面データパネルにCF が表示されるときはカメラにCFカードが入っていません。CFカードを挿入してください。確実に挿入されていないときは、いったんCFカードを取り出し、もう一度挿入し直してください。	26 27
	自動電源オフが作動した。	撮影モードのときは、レンズカバースイッチを⊖位置にし、もう一度ᗧ位置に戻します。再生モードのときは、液晶モニター/ENTERボタンを1秒以上押します。	——
フラッシュ撮影したものが全体的に暗い	フラッシュ光の届く範囲で撮影しましたか。	フラッシュ光の届く範囲で撮影してください。	39
	フラッシュは充電されていますか。	シャッターを半押ししたときに、フラッシュ撮影表示（オレンジ色）が点滅している場合は、フラッシュは充電中です。フラッシュ撮影表示（オレンジ色）が点灯するまでお待ちください。	39

症状	点検項目	処置	ページ
すべての画像が暗すぎるか、または明るすぎる	露出補正が0に設定されていない。	露出補正を0に設定してください。	40
記録した画像が壊れている	カメラがCFカードの読み書きをしているときに、CFカードを取り出した。	撮影後、フォーカスランプ（緑色）がゆっくり点滅しているときは、CFカードを取り出さないでください。	——
パソコンからカメラにアクセスできない	自動電源オフが作動した	カメラを再起動させるとともに、パソコンも再起動してください。	114
強い静電気を受けた等の事由により、カメラが正常に動作しない		電池を抜いて、もう一度入れ直してください。ACアダプターをお使いのときは、プラグをコンセントから抜いて、もう一度入れ直してください。その後、もう一度カメラの電源を入れてください。	——
		※カメラの電源が正常に切れなかったときは、CFカードが破損している恐れがあります。そのときは、CFカードからパソコンへ画像をコピーしてから、カメラでCFカードをフォーマットし直してください。	——

取り扱い上の注意

電池について

◆電池の性能は低温になるほど低下します。低温下では、新品電池を使う、保温した予備の電池を用意して温めながら交互に使う、などに留意してご使用ください。
なお、ニッケル水素電池は低温での性能低下が少ないので、寒冷地ではニッケル水素電池の使用をおすすめします。また、低温のために性能が低下した電池でも、常温に戻せば性能は回復します。
◆長期間使用しないときは電池をすべて抜き取ってください。入れたままにしておくと液漏れにより電池室を損傷する原因になります。
◆アルカリ乾電池の特性上、温度や保管のしかたによっては、実際の電池容量よりカメラの電池容量表示が低く表示されることがあります。このような場合でも、カメラをしばらく使用すると電池容量が回復し、正常な電池容量表示が行われます。

電池寿命について

◆撮影可能枚数：約120コマ

試験条件　アルカリ乾電池使用、フラッシュ使用率50％、30秒間隔で撮影、液晶モニター表示、STD画質、画像サイズFULL。

◆再生時間：約120分

試験条件　アルカリ乾電池使用、液晶モニターに画像を連続表示

※上記の値は当社試験条件によるものです。
※上記電池寿命は「目安」であり、使用環境温度や乾電池のブランド、グレードなどによって異なります。

使用温度について

◆このカメラの使用温度範囲は0～40℃です。
◆直射日光下の車内など極度の高温下や、湿度の高いところに放置しないでください。
◆カメラに急激な温度変化を与えるとカメラ内部に水滴を生じる危険性があります。スキー場のような寒い屋外から暖かい室内に持ち込む場合は、寒い屋外でカメラをビニール袋などに入れ、袋の中の空気を絞り出して密閉します。その後室内に持ち込み、周囲の温度に充分なじませてからカメラを取り出してください。

コンパクトフラッシュカードについて

◆カメラ本体に付属の使用説明書にしたがって、正しくご使用ください。
◆下記の場合、記録されたデータが消去（破壊）されることがあります。**データの消去（破壊）については当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。**大切なデータは、別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-ROM等）にバックアップを取っておくことをおすすめします。
1. お客様または第三者がカードの使い方を誤ったとき
2. カードが静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
3. カードへのアクセス中（書き込み中、読み込み中、フォーマット中など）に、カードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
4. 長期間カードの書き換えがないとき

◆カードを初期化（フォーマット）すると記録されているデータはすべて消去されます。必要なデータは必ずバックアップを取るよう心がけてください。
◆コンパクトフラッシュカードには寿命がありますので、長期間ご使用になるとデータの記録や再生ができなくなる場合があります。このときは新しいコンパクトフラッシュカードをお買い求めください。
◆強い静電気や電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください
◆曲げたり落としたり、強い衝撃や高熱を与えないでください。
◆強い静電気や強い衝撃によってカードが破壊され、データの記録や再生ができなくなる場合があります。このときは新しいコンパクトフラッシュカードをお買い求めください。
◆端子部に手や金属で触れないでください。
◆熱、水分、直射日光を避けてください。
◆お子様の手の届かないところに保管してください。
◆保管するときは、チリ、ホコリ、異物から守るため、保護ケースに入れてください。

液晶モニターについて

◆液晶モニターは精密度の高い技術でつくられており、99.98%以上の有効画素があります。しかし、0.02%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。
◆液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
◆寒いところで使うと、はじめは画面が通常より少し暗くなります。カメラ本体内部の温度が上がってくると、通常の明るさになります。
◆液晶表示は、低温下で反応がやや遅くなったり、高温下で表示が黒くなったりすることがありますが、常温に戻せば正常に作動します。
◆液晶モニターに指紋等が付着して汚れたときは、乾いた柔らかい布で、傷などがつかないよう軽くふいてください。
◆液晶モニター内には内部照明装置として専用蛍光管が使用されています。画面が暗くなったままになったり、チラチラしたり、画像が映らなくなったときは、お買い求めの販売店、または、「アフターサービスのご案内」に記載の当社サービスセンター・サービスステーションにお問い合わせください。

著作権について

◆あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する場合以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

その他

◆カメラに強い衝撃を与えないでください。
◆バッグなどに入れて持ち運ぶときは、カメラの電源を切ってください。
◆このカメラは防水設計・防滴設計にはなっていません。濡れた手で電池やコンパクトフラッシュカードの出し入れ、カメラの操作をしないでください。
海辺等で使用されるときは、水や砂がかからないよう特に注意してください。水、砂、ホコリ、塩分等がカメラに残っていると、故障の原因になります。
◆直接太陽を撮影したり、直射日光の当たる場所に放置しないでください。CCD(撮像素子)の性能を損なうことがあります。

取り扱い上の注意

手入れのしかた

◆カメラボディやレンズの外側を清掃するときは、柔らかいきれいな乾いた布で軽くふいてください。砂がついたときは、こするとカメラに傷をつけますので、ブロアーで軽く吹き飛ばしてください。
◆レンズ面を清掃するときは、ブロアブラシでホコリ等を取り除いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布やレンズティッシュにレンズクリーナーを染み込ませ、レンズの中央から円を描くように軽くふいてください。レンズクリーナーを直接レンズ面にかけることはお避けください。
◆シンナーやベンジンなどの有機溶剤を含むクリーナーは絶対に使用しないでください。
◆レンズ面に直接指で触れないでください。

保管のしかた

◆涼しく、乾燥していて、風通しのよい、ホコリや化学薬品のないところに保管してください。長期間の保存には、密閉した容器に乾燥剤と一緒にいれるとより安全です。
◆長期間使用しないときは、カメラから電池やCFカードを取り出しておいてください。
◆防虫剤の入ったタンスなどに保管しないでください。
◆保管中も時々電源を入れて、シャッターを切るようにしてください。また、ご使用前には整備点検されることをおすすめします。

海外旅行や結婚式など大切な撮影のときは

◆前もって作動の確認、またはテスト撮影をしてからご使用ください。また予備の電池を携帯することをおすすめします。
◆万一、このカメラを使用中に、撮影できなかったり、不具合が生じた場合の補償についてはご容赦ください。

アフターサービスについて

◆本製品の補修用性能部品は、生産終了後5年間を目安に保有しています。
◆製品の修理に関しては、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせいただくか、修理依頼品を「アフターサービスのご案内」に記載のサービスセンター・サービスステーションにお持ち込みください。

主な性能

形式

記録メディア交換型 液晶モニター内蔵 カ メ ラ

撮像部

撮像素子	1/1.75型231万画素インターラインCCD
ISO感度	ISO85相当（High設定時 ISO 340 相当）
シャッター	CCD電子シャッターとメカニカルシャッターの併用 シャッター速度1/500～2秒
ホワイトバランス	オートホワイトバランス、手動設定可能（屋外、蛍光灯、白熱灯）

レンズ

焦点距離	8.2mm（135mmフィルム換算 38mm相当）
開放絞り値	F 3.0
光学系構成	4群5枚（非球面4面）
撮影距離	約60cm～∞、マクロ時は約30cm～60cm

記録部

記録メディア	コンパクトフラッシュカード、Type Ⅰ に対応
画像ファイル形式	静止画：Exif2.1（JPEG）、TIFF、DPOF対応 動画：AVI (Motion JPEG)
記録画素数	FULL：1792画素（横）×1200画素（縦）／ HALF：800画素（横）×600画素（縦） 動画　：320画素（横）×240画素（縦）

記録枚数（8MBのCFカードに 画像サイズがフルサイズで 使用した時の目安値）

スーパーファイン	1枚
ファイン	約9枚
スタンダード	約24枚
エコノミー	約47枚

その他	画像消去機能（1枚消去、全消去）、画像ファイル誤消去防止機能、CFカードフォーマット（初期化）機能

オートフォーカス

形式	撮像CCDによる映像AF方式 動画では固定焦点
フォーカスモード	シャッターボタン半押しでフォーカスロック

自動露出（AE）

露出モード	プログラムAE.。シャッターボタン半押しでAEロック
測光方式	撮像CCDによる中央重点測光
シャッター速度範囲	1/500秒～2秒 フラッシュ同調最高速度：1/125秒
露出補正	±2.0 Ev（0.5 Ev ステップ）

光学ファインダー

形式	逆ガリレオ方式

（☞ 次ページに続く）

主な性能

液晶モニター

形式	46mm(1.8型)カラーLCD
モニター画素数	約7.7万画素
その他	明るさ（BRIGHTNESS）調整可能

再生モード

表示画像数	1枚表示：1枚、インデックス表示：9枚
デジタル拡大	撮影モード：1.4倍、2.0倍　再生モード：2.0倍、3.0倍

ドライブモード

モード　単写、連写、セルフタイマー、リモートレリーズ、動画撮影

連写コマ数

スーパーファイン	1枚（連写できません）
ファイン	4枚
スタンダード	8枚
エコノミー	12枚

セルフタイマー	作動時間10秒、途中解除可能
リモートレリーズ	IRリモコン RC-3（別売アクセサリー）による
動画撮影	最長60秒

フラッシュ

充電時間	フル発光時：10秒以内
連動範囲	0.6ー2.2m
フラッシュモード	自動発光／強制発光／発光禁止／赤目軽減・自動発光／赤目軽減・強制発光（マクロモードでは発光禁止）

インターフェイス

ビデオ出力	NTSC/PAL切り替え可能
PCインターフェイス	USBポート（Windows98、Windows2000、Windows ME /Macintosh）

電源

使用電池	単3形アルカリ乾電池×4本、単3形ニッケル水素電池×4本、(単3形リチウム電池は使用不可)
外部電源	ACアダプターAC-1またはAC-1L（別売品）使用可（カメラ本体にDC電源入力端子装備）
使用温度範囲	0～40℃

大きさ、重さ

大きさ	114（幅）×65（高さ）×45（奥行）㎜（突起部を含まず）
重さ	約210㌘（電池、CFカード 別）

※本書に記載の性能は当社試験条件によります。

※本書に記載の性能および外観は、都合により予告なく変更することがあります。

DiMAGE E201 サポート用お問い合わせ用紙

この用紙をコピーして、必要事項をご記入の上、フォトサポートセンターまでお送りください。

ミノルタ株式会社
フォトサポートセンター
FAX 03-3356-6303

製品シリアルNo　　　　　年　　月　　日

お名前	フリガナ			
ご連絡先	TEL		FAX	
	E-mail	@		
ご住所	〒			

ご使用環境	
	お使いのＰＣ　□PC/AT互換機　□PC98-NX　□Macintosh 機種名（　　　　　　　　）
	OS □Windows®2000 □Windows®Me □Windows®98Second Edition □Windows®NT □Windows®98　□Mac OS　バージョン（　　　　）
	メモリ容量　　　MB ハードディスク容量　　　MB・GB（空き容量　　　MB・GB）
	ユーティリティソフトウェアのバージョン： （お使いの画像処理アプリケーション名/バージョン：　　　　）
	その他、接続している周辺機器：

●問題発生の頻度（具体的に）：

●再現性：　□あり　□なし　□再現不可能

●状況（どのような操作でどうなったか、できるだけ詳しくお書きください。）